

注3

大学番号：私172

[平成27年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

認可

岐阜聖徳学園大学 看護学部

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人聖徳学園
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総合企画部総合企画課

職名・氏名 課長 越 野 倫 生

電話番号 058-279-6710

（夜間） 090-1987-2910

F A X 058-279-6415

e-mail kikaku@shotoku.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出

について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

看護学部

<看護学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	18
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	20
5. 教員組織の状況	22
6. 留意事項等に対する履行状況等	43
7. その他全般的事項	45

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人聖徳学園

(2) 大学名

岐阜聖徳学園大学

(3) 大学の位置

〒501-6194

岐阜県岐阜市柳津町高桑西一丁目1番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(スギヤマ モトヒコ) 杉山元彦 (平成23年4月1日)		
学長	(フジイ ノリュキ) 藤井德行 (平成23年4月1日)		
学部長	(オオミ サキエ) 大見サキエ (平成27年4月1日)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
看護学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	4年	80人	0年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80人 (-) [-]	-	80人 (-) [-]	-	80人 (-) [-]	-	80人 (-) [-]	-	0.99倍	
志願者数	703 (-) [-]	- (-) [-]	480 (-) [-]	- (-) [-]	518 (-) [-]	- (-) [-]	616 (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	594 (-) [-]	- (-) [-]	412 (-) [-]	- (-) [-]	427 (-) [-]	- (-) [-]	520 (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	129 (-) [-]	- (-) [-]	199 (-) [-]	- (-) [-]	263 (-) [-]	- (-) [-]	278 (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	63 (-) [-]	- (-) [-]	68 (-) [-]	- (-) [-]	100 (-) [-]	- (-) [-]	89 (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	0.78		0.85		1.25		1.11			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	63 [0] (-)	- [-] (-)	68 [0] (-)	- [-] (-)	100 [0] (-)	- [-] (-)	89 [0] (-)	- [-] (-)	
2年次	- [-] (-)	- [-] (-)	62 [0] (-)	- [-] (-)	68 [0] (-)	- [-] (-)	95 [0] (-)	- [-] (-)	
3年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)	58 [0] (-)	- [-] (-)	66 [0] (-)	- [-] (-)	
4年次	/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	57 [0] (-)	- [-] (-)	
計	63 [0] (-)		130 [0] (-)		226 [0] (-)		307 [0] (-)		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	63 人	1 人	平成27年度	1 人	人	進路変更(進学)
平成28年度	130 人	4 人	平成27年度	4 人	人	進路変更(進学)(3人) その他(1人)
			平成28年度	0 人	人	
平成29年度	226 人	8 人	平成27年度	1 人	人	進路変更(進学)
			平成28年度	2 人	人	進路変更(進学)、修学意欲の低下
			平成29年度	5 人	人	進路変更(就職)(4人)、進路変更(進学)(1人)
平成30年度	307 人	0 人	平成27年度	0 人	人	
			平成28年度	0 人	人	
			平成29年度	0 人	人	
			平成30年度	0 人	人	
合計	726 人	13 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{63} = \boxed{1.58} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{130} = \boxed{3.07} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{8}{226} = \boxed{3.53} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{307} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	公衆衛生看護学概論	2後	2				1	1				
	公衆衛生看護学活動展開論Ⅰ	3前		1			1	1	1			
	公衆衛生看護学活動展開論Ⅱ	4前		1			1	1	1			
	学校保健	3前		2							1	
	養護概説	2前		2							1	
	健康相談活動	3前		2							1	
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	4前		1			1	1	1			
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		3			1	1	2	1		
公衆衛生看護学実習Ⅲ	4後		1			1	1	1				
教職科目	教師論(中等)	2前			2							1
	教育基礎論(中等)	2前			2							1
	教育心理学(中等)	2前			2							1
	発達心理学(中等)	2後			2							1
	障害児教育学(中等)	4前			2							1
	教育社会学(中等)	4後			2							1
	教育の社会制度論(中等)	2後			2							1
	教育行政学(中等)	4前			2							1
	教育課程論(中等)	3前			2							1
	道徳教育の指導法(中等)	2後			2							2
	特別活動の指導法(中等)	2後			2							1
	教育情報方法論(中等)	3前			2							2
	教育評価(中等)	4前			2							1
	生徒指導論	3前			2							1
	教育相談(中等)	3前			2							1
	臨床心理学(中等)	4後			2							1
	養護教諭実習特講(事前事後)	4前			1							1
	養護教諭実習	4前			4							1
教職実践演習(養護教諭)	4後			2							4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	公衆衛生看護学概論	2後	2				1	1				0
	公衆衛生看護学活動展開論Ⅰ	3前		1			1	1	1		0	
	公衆衛生看護学活動展開論Ⅱ	4前		1			1	1	1		0	
	学校保健	3前		2								1
	養護概説	2前		2								1
	健康相談活動	3前		2								1
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	4前		1			1	1	1			
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		3			1	1	1	1	0	
公衆衛生看護学実習Ⅲ	4後		1			1	1	1				
教職科目	教師論(中・高・養)	2前			2							1
	教育基礎論(中・高・養)	2前			2							1
	教育心理学(中・高・養)	2前			2							1
	発達心理学	2後			2							1
	障害児教育学	4前			2							1
	教育社会学	4後			2							1
	教育の社会制度論(中・高・養)	2後			2							1
	教育行政学	4前			2							1
	教育課程論(中・高・養)	3前			2							1
	道徳教育の指導法(中・養)	2後			2							1
	特別活動の指導法(中・高・養)	2後			2							1
	教育の方法と技術(中・高・養)	3前			2							1
	教育評価	4前			2							2
	生徒指導論	3前			2							1
	教育相談(中・高・養)	3前			2							1
	教育相談の理論と方法	4後			2							2
	養護教諭実習(事前事後)	4前			1							1
	養護教諭実習	4前			4							1
教職実践演習(養護教諭)	4後			2							4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職科目	教師論	2前			2							1
	教育基礎論	2前			2							1
	教育心理学	2前			2							1
	発達心理学	2後			2							1
	障害児教育学	4前			2							1
	教育社会学	4後			2							1
	教育の社会制度論	2後			2							1
	教育行政学	4前			2							1
	教育課程論	3前			2							1
	道徳教育の指導法	2後			2							2
	特別活動の指導法	2後			2							1
	教育情報方法論	3前			2							2
	教育評価	4前			2							1
	生徒指導論	3前			2							1
	教育相談	3前			2							1
	教育相談の理論と方法	4後			2							1
	養護教諭実習(事前事後)	4前			1							1
養護教諭実習	4前			4							1	
教職実践演習(養護教諭)	4後			2							4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職科目	教師論	2前			2							1
	教育基礎論	2前			2							1
	教育心理学	2前			2							1
	発達心理学	2後			2							1
	障害児教育学	4前			2							1
	教育社会学	4後			2							1
	教育の社会制度論	2後			2							1
	教育行政学	4前			2							1
	教育課程論	3前			2							1
	道徳教育の指導法	2後			2							1
	特別活動の指導法	2後			2							1
	教育情報方法論	3前			2							2
	教育評価	4前			2							1
	生徒指導論	3前			2							1
	教育相談	3前			2							1
	教育相談の理論と方法	4後			2							1
	養護教諭実習(事前事後)	4前			1							1
養護教諭実習	4前			4							1	
教職実践演習(養護教諭)	4後			2							4	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎 科目	宗教学Ⅰ	1前	2									1
	宗教学Ⅱ	1後	2									1
	基礎セミナーⅠ	1前	1			4	2	1	4	3		
	基礎セミナーⅡ	2前	1			4	0	5	1			
	ICT基礎	1前	2			1						
	スポーツⅠ	1前	1									5
	スポーツⅡ	1後	1									6
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1									3
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1									3
	英語コミュニケーションⅢ	2前		1								1
	英語コミュニケーションⅣ	2後		1								1
	ドイツ語コミュニケーションⅠ	1前		1								1
	ドイツ語コミュニケーションⅡ	1後		1								1
	ドイツ語Ⅰ	2前		1								1
	ドイツ語Ⅱ	2後		1								1
	フランス語コミュニケーションⅠ	1前		1								1
	フランス語コミュニケーションⅡ	1後		1								1
	フランス語Ⅰ	2前		1								1
	フランス語Ⅱ	2後		1								1
	中国語コミュニケーションⅠ	1前		1								4
	中国語コミュニケーションⅡ	1後		1								3
	中国語Ⅰ	2前		1								2
	中国語Ⅱ	2後		1								2
	ポルトガル語コミュニケーションⅠ	1前		1								1
	ポルトガル語コミュニケーションⅡ	1後		1								1
	ジェンダー論	1後・2前		2								1
	映画学	1後・2前		2								1
	心理学	1後・2前		2								3
	哲学	1後・2前		2								1
	日本文化論	1後・2前		2								1
	日本国憲法	1後・2前		2								1
	家族と社会保障	1後・2前		2								1
	災害と危機管理	1後・2前		2								1
	キャリアアプラン	1後・2前		2								2
	異文化論	1後・2前		2								2
	現代環境科学	1後・2前		2		1						
天文学	1後・2前		2								1	
数学	1後・2前		2								1	
レクリエーション	1後・2前		2								1	
複合領域												
	食生活論	1後・2前		1								1
	岐阜学	1後・2前		2								2
	芸術論	1後・2前		1								2
	健康科学	1後・2前		2								2
専門 基礎 科目	解剖生理学Ⅰ	1前	2									1
	解剖生理学Ⅱ	1前	1									1
	解剖生理学Ⅲ	1後	1									2
	生化学	1前	2			1						
	栄養学	1後	2			1						1
	微生物学(感染・免疫を含む)	1前	2			1						
	薬理薬理学	1後	2									1
	現代医療論	1前	1									1
	病態治療学Ⅰ	1後	2									3
	病態治療学Ⅱ	1後	2									3
	病態治療学Ⅲ	2前	1									3
	病態治療学Ⅳ	2前	1									3
	遺伝情報学	2後		1								1
	東洋医学	3前		1								1
	代替補完療法	3前		1								2
	生涯発達論	1後	1			3		1				
	コミュニケーション論	1前	1			1	0		2			1
	クリニカルコミュニケーション	3前	1			1	1					0
看護の対象理解論	2前	1			1		1	1				
家族社会学	2後	2			1							
日本語話	1後		1								2	
臨床心理学	3前		2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	公衆衛生学と法規	2前	2			1						
	保健統計学	2後		2		1						
	疫学	2後		2		1						
	保健医療福祉行政論	2後		2							1	
	社会福祉概論	2前		1							1	
	医療安全	2前		1							2	
	ボランティア活動	2前		1		3	1	1				
	多職種連携論	1前		1		2		1				
	退院支援論	3前		1		2		2				
	専門科目	看護学概論	1前	2				0				
生活援助技術論		1後	2					1	1			
診療援助技術論		2前	1				0	0	1			2
生活援助技術演習		1後	1				0	1	2			
診療援助技術演習		2前	1				0	1	2		2	1
フィジカルアセスメント		1後	1				0	1	2			0
看護過程		2後	1				0	1	2			1
看護倫理		4後	1									1
SPP技術演習		2後	1				0	1	2		1	
基礎看護学実習Ⅰ		1前	1			0	0	2	2	2	2	
基礎看護学実習Ⅱ		2後	2				0	3	2	2	0	
成人看護学概論		2前	2			1						
成人看護学援助論Ⅰ		2後	1			1		2	0			0
成人看護学援助論Ⅱ		3前	1			1		1	0			
がん看護援助論		3前	2			1		1				
成人看護学実習		3後	4			1		2	0		1	
老年看護学概論		2前	2			1						
老年看護学援助論Ⅰ		2後	1			1			1		1	
老年看護学援助論Ⅱ		3前	1			1			1		1	
老年看護学実習Ⅰ		2前	1			1	0	1	2	2	2	0
老年看護学実習Ⅱ		3後	3			1		0	1	1	1	
小児看護学概論		2前	1			1		1	1			
小児看護学援助論Ⅰ		2前	1			1		1	1		1	
小児看護学援助論Ⅱ		2後	1			1		1	1		1	
小児看護学援助論Ⅲ		3前	1			1		1	1		1	
小児看護学実習Ⅰ		2前	1			1		1	1		1	
小児看護学実習Ⅱ		3後	1			1		1	1		1	
母性看護学概論		2前	2			1						
母性看護学援助論Ⅰ		2後	1			1		1	1			
母性看護学援助論Ⅱ		3前	1			1		1	1			
母性看護学実習		3後	2			1		1	1			
精神看護学概論		2前	2			1						
精神看護学援助論Ⅰ		2後	1			1		1			1	1
精神看護学援助論Ⅱ		3前	1			1		1			1	
精神看護学実習		3後	2			1		1			1	
在宅看護概論		2後	2			1	0					1
在宅看護援助論		3前	2			1		1		1	1	
在宅看護論実習		3後	2			1		1		1	1	
研究の基礎		3前	1				3					
卒業研究		4通	2				8	3	7	3		
特別支援教育・看護合同演習		4前	1			1	1	1	1	1	1	3
看護管理論		4前	1									1
災害看護論	4後		1			1						
国際看護論	4前		1				2					
海外研修	3前		1				2					
看護教育論	4後		1				0					
救急看護	4前		1					1				
SPP技術指導演習	4後		1			2	1	3	1		4	
多職種連携実践演習	4後		1			2	1	3	2		4	
終末期看護実習	4前	1				3	1	3	2		1	
継続看護実習	4前	1				1		4	6		4	
統合看護実習	4前	2				4	2	6	5			
公衆衛生看護学概論	2後	2					0	1			1	
公衆衛生看護学活動展開論Ⅰ	3前		1				0	1	1	1		
公衆衛生看護学活動展開論Ⅱ	4前		1				1	1	1	1		
学校保健	3前		2								1	
養護概説	2前		2								1	
健康相談活動	3前		2								1	
公衆衛生看護学実習Ⅰ	4前		1				1	1	1			
公衆衛生看護学実習Ⅱ	4後		3				1	1	1	1		
公衆衛生看護学実習Ⅲ	4後		1				1	1	1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職科目	教師論	2前			2							1
	教育基礎論	2前			2							1
	教育心理学	2前			2							1
	発達心理学	2後			2							1
	障害児教育学	4前			2							1
	教育社会学	4後			2							1
	教育の社会制度論	2後			2							1
	教育行政学	4前			2							1
	教育課程論	3前			2							1
	道徳教育の指導法	2後			2							1
	特別活動の指導法	2後			2							1
	教育情報方法論	3前			2							1
	教育評価	4前			2							1
	生徒指導論	3前			2							1
	教育相談	3前			2							1
	教育相談の理論と方法	4後			2							1
	養護教諭実習(事前事後)	4前			1							1
	養護教諭実習	4前			4							1
教職実践演習(養護教諭)	4後			2							4	

- (注)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【平成27年度】

・科目担当可教員内での調整により、「基礎セミナーⅠ」の専任教員等の配置を「教授7、准教授4、講師8、助教6」から「教授5、准教授3、講師6、助教5」に変更。

・講師就任辞退により、「基礎セミナーⅡ」の専任教員等の配置を「講師8」から「講師7」に変更。

・時間割調整により、「日本手話」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。

・留意事項に対応するため、「診療援助技術論」の単位数を「2」から「1」に変更。

・留意事項に対応するため、新規科目「看護過程」を追加。

・講師就任辞退により、「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師8」から「講師7」に変更。

・講師就任辞退により、「成人看護学援助論Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」に変更。

・講師就任辞退により、「成人看護学援助論Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。

・講師就任辞退により、「成人看護学実習」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」に変更。

・留意事項に対応するため、「老年看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。

・講師就任辞退により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「講師9」から「講師8」に変更。

・講師就任辞退により、「救急看護」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。

・講師就任辞退により、「終末期看護実習」の専任教員等の配置を「講師4」から「講師3」に変更。

・講師就任辞退により、「継続看護実習」の専任教員等の配置を「講師5」から「講師4」に変更。

・講師就任辞退により、「統合看護実習」の専任教員等の配置を「講師8」から「講師7」に変更。

・課程認定申請の際に、教職科目の授業科目名を変更。

「教師論」「教育基礎論」「教育心理学」「発達心理学」「障害児教育学」「教育社会学」「教育の社会制度論」「教育行政学」「教育課程論」「道徳教育の指導法」「特別活動の指導法」「教育情報方法論」「教育評価」「教育相談」「教育相談の理論と方法」「養護教諭実習(事前事後)」

【平成28年度】

・科目担当可教員内での調整により、「基礎セミナーⅠ」の専任教員等の配置を「教授5、准教授3、講師6、助教5」から「教授5、准教授0、講師5、助教2、助手3」に変更。

・科目担当可教員内での調整により、「基礎セミナーⅡ」の専任教員等の配置を「教授7、准教授4、講師7、助教6」から「教授4、准教授2、講師2、助教0」に変更。

・時間割調整により、「解剖生理学Ⅱ」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。

・准教授辞任により、「コミュニケーション論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教2」から「教授1、准教授0、助教2、兼任1」に変更。

・講師辞任により、「看護の対象理解論」の専任教員等の配置を「教授1、講師2」から「教授1、講師1、兼任1」に変更。

・授業内容の充実を図るため、「ボランティア活動」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授3」に変更。

・授業内容の充実を図るため、「多職種連携論」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。

・准教授辞任により、「看護学概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0、兼任1」に変更。

・講師就任辞退により、「診療援助技術論」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0、兼任1」に変更。

・准教授辞任と講師就任辞退により、「生活援助技術演習」の専任教員等の配置を「准教授1、講師2、助教2」から「准教授0、講師1、助教2」に変更。

・准教授辞任と講師就任辞退により、「診療援助技術演習」の専任教員等の配置を「准教授1、講師2、助教2」から「准教授0、講師1、助教2、兼任1」に変更。

・准教授辞任と講師就任辞退により、「フィジカルアセスメント」の専任教員等の配置を「准教授1、講師2、助教2」から「准教授0、講師1、助教2、兼任1」に変更。

・准教授辞任と講師就任辞退により、「看護過程」の専任教員等の配置を「准教授1、講師2、助教2」から「准教授0、講師1、助教2、兼任1」に変更。

・准教授辞任と講師就任辞退により、「SPP技術演習」の専任教員等の配置を「准教授1、講師2、助教2」から「准教授0、講師1、助教2」に変更。

・准教授と助教の辞任、講師就任辞退、科目担当可教員内での調整により、「基礎看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、講師4、助教5、助手4」から「教授0、准教授0、講師3、助教3、助手1」に変更。

・准教授と助教の辞任、講師就任辞退、科目担当可教員内での調整により、「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授2、講師7、助教5、助手8」から「准教授0、講師5、助教4、助手4」に変更。

・講師就任と助教辞任により、「成人看護学援助論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1、講師1、助教1」から「教授1、講師2、助教0、兼任1」に変更。

・講師就任と助教辞任により、「成人看護学援助論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、講師0、助教1」から「教授1、講師1、助教0」に変更。

・講師就任と助教辞任により、「成人看護学実習」の専任教員等の配置を「教授1、講師1、助教1、助手2」から「教授1、講師2、助教0、助手2」に変更。

・科目担当可教員内での調整により、「老年看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1、講師1、助教1、助手5」から「教授1、准教授0、講師1、助教1、助手2、兼任1」に変更。

・講師辞任により、「老年看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。

・平成30年度に准教授として就任することにより、「在宅看護概論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授1、准教授0、兼任1」に変更。

・准教授と助教の辞任、講師就任辞退により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授8、准教授4、講師8、助教3」から「教授8、准教授3、講師7、助教2」に変更。

・准教授辞任により、「看護教育論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。

・講師就任により、「救急看護」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。

・助教辞任により、「終末期看護実習」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更。

・助教辞任により、「継続看護実習」の専任教員等の配置を「助教6」から「助教5」に変更。

・准教授と助教の辞任、講師就任辞退により、「統合看護実習」の専任教員等の配置を「教授4、准教授3、講師7、助教5」から「教授4、准教授2、講師6、助教4」に変更。

・平成30年度に准教授として就任することにより、「公衆衛生看護学概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0、兼任1」に変更。

・助教辞任により、「公衆衛生看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更。

【平成29年度】

- ・科目担当可教員内での調整により、「基礎セミナーⅠ」の専任教員等の配置を「教授5、准教授0、講師5、助教2、助手3」から「教授4、准教授2、講師1、助教4、助手3」に変更。
- ・科目担当可教員内での調整により、「基礎セミナーⅡ」の専任教員等の配置を「教授4、准教授2、講師2、助教0」から「教授4、准教授0、講師5、助教1」に変更。
- ・助教就任により、「看護の対象理解論」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・「診療援助技術演習」の専任教員等の配置を「助手0」から「助手2」に変更。
- ・「SPP技術演習」の専任教員等の配置を「助手0」から「助手1」に変更。
- ・科目担当可教員内での調整により、「基礎看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授0、准教授0、講師3、助教3、助手1」から「教授0、准教授0、講師2、助教2、助手2」に変更。
- ・科目担当可教員内での調整により、「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授0、講師5、助教4、助手4」から「准教授0、講師3、助教2、助手0」に変更。
- ・「成人看護学実習」の専任教員等の配置を「助手2」から「助手1」に変更。
- ・助教就任により、「老年看護学援助論Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・助教就任により、「老年看護学援助論Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・助教就任により、「老年看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・助教就任により、「老年看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・「老年看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「助手2」から「助手1」に変更。
- ・「精神看護学援助論Ⅰ」の専任教員等の配置を「助手0」から「助手1」に変更。
- ・「精神看護学援助論Ⅱ」の専任教員等の配置を「助手0」から「助手1」に変更。
- ・「在宅看護援助論」の専任教員等の配置を「助手0」から「助手1」に変更。
- ・助教就任により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教3」に変更。
- ・助教就任により、「終末期看護実習」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・助教就任により、「継続看護実習」の専任教員等の配置を「助教5」から「助教6」に変更。
- ・助教就任により、「統合看護実習」の専任教員等の配置を「助教4」から「助教5」に変更。
- ・平成30年度に准教授として就任することにより、「公衆衛生看護活動展開論Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1、講師1、助教1」から「准教授0、講師1、助教1、助手1」に変更。
- ・「公衆衛生看護活動展開論Ⅱ」の専任教員等の配置を「助手0」から「助手1」に変更。

【平成30年度】

- ・科目担当可教員内での調整により、「基礎セミナーⅠ」の専任教員等の配置を「教授4、准教授2、講師1、助教4、助手3」から「教授2、准教授4、講師4、助教1、助手3」に変更。
- ・科目担当可教員内での調整により、「基礎セミナーⅡ」の専任教員等の配置を「教授4、准教授0、講師5、助教1」から「教授3、准教授2、講師2、助教4」に変更。
- ・教授辞任、准教授昇格により、「生涯発達論」の専任教員等の配置を「教授3、講師1」から「教授1、准教授1、講師0」に変更。
- ・准教授就任と担当者追加により、「コミュニケーション論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授0、助教2」から「教授1、准教授1、講師0、助教2」に変更。
- ・教授辞任により、「ボランティア活動」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・准教授昇格により、「多職種連携論」の専任教員等の配置を「教授2、講師1」から「教授2、准教授1、講師0」に変更。
- ・准教授昇格と講師辞任により、「退院支援論」の専任教員等の配置を「教授2、講師2」から「教授2、准教授1、講師0、兼任1」に変更。
- ・准教授就任により、「看護学概論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当者追加により、「診療援助技術論」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・准教授就任により、「生活援助技術演習」「診療援助技術演習」「フィジカルアセスメント」「看護過程」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・「診療援助技術演習」の専任教員等の配置を「助手2」から「助手0」に変更。
- ・担当者追加により、「看護倫理」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・准教授就任により、「SPP技術演習」の専任教員等の配置を「准教授0、講師1、助教2、助手1」から「准教授1、講師1、助教2、助手0」に変更。
- ・准教授就任と科目担当可教員内での調整により、「基礎看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授0、准教授0、講師2、助教2、助手2」から「教授0、准教授1、講師1、助教2、助手1」に変更。
- ・准教授就任と科目担当可教員内での調整により、「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授0、講師3、助教2、助手0」から「准教授1、講師1、助教2、助手0」に変更。
- ・准教授昇格、講師就任により、「成人看護学援助論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1、講師2、助教0」から「教授0、准教授1、講師2、助教0、助手2」に変更。
- ・准教授昇格、講師就任により、「成人看護学援助論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、講師1、助教0」から「教授0、准教授1、講師2、助教0、助手2」に変更。
- ・准教授昇格、講師就任により、「がん看護援助論」の専任教員等の配置を「教授1、講師1」から「教授1、准教授1、講師1」に変更。
- ・准教授昇格、講師就任により、「成人看護学実習」の専任教員等の配置を「教授1、講師2、助教0、助手1」から「教授1、准教授1、講師2、助教0、助手2」に変更。
- ・教授辞任により、「老年看護学概論」の専任教員等の配置を「教授1、兼任0」から「教授0、兼任1」に変更。
- ・教授辞任、助教就任により、「老年看護学援助論Ⅰ」「老年看護学援助論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、助教1、助手1」から「教授0、助教2、助手0、兼任1」に変更。
- ・教授辞任、助教就任、科目担当可教員内の調整により、「老年看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授0、講師1、助教2、助手2」から「教授0、准教授0、講師0、助教2、助手3」に変更。
- ・教授辞任、助教就任、科目担当可教員内の調整により、「老年看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、講師0、助教1、助手1」から「教授0、講師0、助教2、助手0」に変更。
- ・講師辞任により、「母性看護学援助論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1、講師1、助教1」から「教授1、講師0、助教1、兼任1」に変更。
- ・講師辞任により、「母性看護学援助論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、講師1、助教1」から「教授1、講師0、助教1、兼任2」に変更。
- ・講師辞任により、「母性看護学実習」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・教授辞任により、「在宅看護概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・教授辞任、准教授昇格、講師就任、講師辞任、担当者追加により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授8、准教授3、講師7、助教3」から「教授6、准教授5、講師6、助教4」に変更。
- ・「特別支援教育・看護合同演習」の専任教員等の配置を「助手1」から「助手0」に変更。
- ・准教授就任により、「看護教育論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・准教授昇格、講師就任、助教就任により、「SPP技術指導演習」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1、講師3、助教1、助手4」から「教授1、准教授1、講師3、助教0、助手0」に変更。
- ・「多職種連携実践演習」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1、講師3、助教2、助手4」から「教授2、准教授1、講師1、助教1、助手0」に変更。
- ・教授辞任、科目担当可教員内の調整により、「終末期看護実習」の専任教員等の配置を「教授3、准教授1、講師3、助教2、助手1」から「教授1、准教授1、講師2、助教0、助手2」に変更。

- ・准教授昇格、講師昇格、講師就任、助教就任、科目担当可教員内の調整により、「継続看護実習」の専任教員等の配置を「教授1、講師4、助教6、助手4」から「教授1、准教授1、講師3、助教5、助手4」に変更。
- ・教授辞任、准教授就任、講師就任、助教就任により、「統合看護実習」の専任教員等の配置を「教授4、准教授2、講師6、助教5」から「教授3、准教授4、講師5、助教5、助手5」に変更。
- ・准教授昇格、講師昇格により、「公衆衛生看護学概論」の専任教員等の配置を「准教授0、講師1、兼任1」から「准教授1、講師1、兼任0」に変更。
- ・准教授昇格、講師昇格により、「公衆衛生看護活動展開論Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授0、講師1、助教1、助手1」から「准教授1、講師1、助教1、助手0」に変更。
- ・「公衆衛生看護活動展開論Ⅱ」の専任教員等の配置を「助手1」から「助手0」に変更。
- ・「公衆衛生看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「助手1」から「助手0」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
75 科目	59 科目	19 科目	153 科目	76 科目 [1]	59 科目 []	13 科目 [Δ6]	148 科目 [Δ5]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：Δ1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	発達心理学	2	2後	教職科目	自由	教員免許状再課程認定に対応する科目に見直したため
2	障害児教育学	2	4前	教職科目	自由	教員免許状再課程認定に対応する科目に見直したため
3	教育社会学	2	4後	教職科目	自由	教員免許状再課程認定に対応する科目に見直したため
4	教育行政学	2	4前	教職科目	自由	教員免許状再課程認定に対応する科目に見直したため
5	教育評価	2	4前	教職科目	自由	教員免許状再課程認定に対応する科目に見直したため
6	教育相談の理論と方法	2	4後	教職科目	自由	教員免許状再課程認定に対応する科目に見直したため

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教員免許状再課程認定に対応するため、大学全体で平成30年度から教職科目の開設を見直すこととした。それに伴い平成30年度入学者から教職科目の開設科目が変更となった。このことについては、4月のオリエンテーションで周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{6}{153} = \boxed{3.92} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	地は下記の学校と共有 岐阜聖徳学園大学短期大学部 幼児教育学科第一部200人 幼児教育学科第三部150人 岐阜聖徳学園大学附属中学校270人 岐阜聖徳学園大学附属小学校270人 岐阜聖徳学園大学附属幼稚園200人 校地借用面積44,968.08㎡ 借用期間 平成20年4月から20年 (貸与者：坂井田坂江地33名) 交差点改良に伴う校地寄付による減少。 (27) 岐阜市所管の道路と水路を本学に所有権 移転を行ったため(28) 本学所有の用地を水路及び公衆用道路と して形状を整え、帰属する岐阜市に所有 権移転を行ったため(28) 校舎敷地を駐車場として整備したため (29)		
	校舎敷地	0㎡	74,147㎡ 76,389㎡ 76,787㎡	0㎡	74,147㎡ 76,389㎡ 76,787㎡			
	運動場用地	0㎡	65,874㎡ 71,693㎡	0㎡	65,874㎡ 71,693㎡			
	小 計	0㎡	142,263㎡ 148,480㎡	0㎡	142,263㎡ 148,480㎡			
	そ の 他	0㎡	33,054㎡ 28,182㎡ 28,195㎡	0㎡	33,054㎡ 28,182㎡ 28,195㎡			
	合 計	0㎡	175,075㎡ 175,317㎡ 176,662㎡ 176,675㎡	0㎡	175,075㎡ 175,317㎡ 176,662㎡ 176,675㎡			
(2) 校 舎		専 用 39,389.77㎡ (39,389.77㎡)	共 用 10,054.69㎡ (10,054.69㎡)	共用する他の学校等の専用 4,461.98㎡ (4,461.98㎡)	計 53,906.44㎡ (53,906.44㎡)	岐阜聖徳学園大学短期大学部と共用 幼児教育学科第一部 幼児教育学科第三部		
(3) 教 室 等		講 義 室 74室	演 習 室 52室	実験実習室 32室	情報処理学習施設 10室 1 (補助職員 4)	語学学習施設 0室 (補助職員 0人)	大学全体 組織変更に伴う変更(29)	
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				
		看護学部 看護学科		27 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書〔うち外国書〕・視聴覚資料について ・購入予定変更のため(27) ・購入予定変更のため(28) ・購入予定変更のため(29) ・購入予定変更のため(30) 学術雑誌について ・購入予定変更のため(27) ・購入予定変更のため(29) ・購入予定変更のため(30)
	看護学部	4,108 [654] (4,796 [588]) -(4,294 [582]) -(3,699 [581]) -(3,338 [577]) -(3,340 [576])	53 [17] (47 [7]) -(57 [17]) -(55 [17]) -(53 [17])	10 [10] (10 [10])	106 (243) -(196) -(162) -(133) -(106)	4,581 (2,816)	283 (136)	
	計	4,108 [654] (4,796 [588]) -(4,294 [582]) -(3,699 [581]) -(3,338 [577]) -(3,340 [576])	53 [17] (47 [7]) -(57 [17]) -(55 [17]) -(53 [17])	10 [10] (10 [10])	106 (243) -(196) -(162) -(133) -(106)	4,581 (2,816)	283 (136)	
(6) 図 書 館		面 積 3,044.67㎡ 2,286.40㎡	閲覧座席数 391	収 納 可 能 冊 数 328,389 292,200	倉庫を書籍に変更したため面積と収納可能冊数増加(27)			
(7) 体 育 館		面 積 6,534.15㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要 野球場1面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	386千円 375千円	371千円 375千円	図書購入費	18,561千円 18,483千円	6,490千円 5,795千円	3,086千円 7,841千円
	共同研究費等	2,500千円	2,500千円	設備購入費	159,918千円 158,581千円	103,857千円	4,393千円 2,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次 1,700千円	第2年次 1,400千円	第3年次 1,400千円	第4年次 1,400千円	第5年次 -千円	第6年次 -千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

(注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の

項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学 の 名 称	岐阜聖徳学園大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
看護学部 看護学科	4	80	0	320	学士 (看護学)	0.99	平成27年度	岐阜県岐阜市柳津町 高桑西一丁目1番地	
教育学部 学校教育課程	4	330	0	1320	学士 (教育)	1.14	平成21年度	岐阜県岐阜市柳津町 高桑西一丁目1番地	平成27年度より 入学定員変更 (250→330)
教育学部 学校心理課程	4	—	0	—	学士 (心理学)	—	平成19年度	岐阜県岐阜市柳津町 高桑西一丁目1番地	平成27年度より 学生募集停止
外国語学部 外国語学科	4	150	0	600	学士 (外国語)	0.91	平成14年度	岐阜県岐阜市柳津町 高桑西一丁目1番地	
経済情報学部 経済情報学科	4	150	0	600	学士 (経済学)	1	平成10年度	岐阜県岐阜市中鶉 一丁目38番地	平成26年度より 入学定員変更 (200→150)
大学 の 名 称	岐阜聖徳学園大学大学院								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
国際文化研究科 国際教育文化専攻	2	15	0	30	修士 (国際文化)	0.11	平成10年度	岐阜県岐阜市柳津町 高桑西一丁目1番地	
国際文化研究科 国際地域文化専攻	2	10	0	20	修士 (国際文化)	0.12	平成10年度	岐阜県岐阜市柳津町 高桑西一丁目1番地	
経済情報研究科 経済情報専攻(博士課程(前期))	2	10	0	20	修士 (経済)	0.12	平成16年度	岐阜県岐阜市中鶉 一丁目38番地	
経済情報研究科 経済情報専攻(博士課程(後期))	3	3	0	9	博士 (経済情報)	0.16	平成16年度	岐阜県岐阜市中鶉 一丁目38番地	
大学 の 名 称	岐阜聖徳学園大学短期大学部								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
幼児教育学科第一部	2	100	0	200	短期大学士 (幼児教育)	1.02	昭和41年度	岐阜県岐阜市中鶉 一丁目38番地	
幼児教育学科第三部	3	50	0	150	短期大学士 (幼児教育)	1.14	昭和43年度	岐阜県岐阜市中鶉 一丁目38番地	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている

場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

- ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。
-

5 教員組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成27年度】			【平成28年度】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)<就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)<就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)<就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)<就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)<就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授(学部長)	大見 サキエ 61 <平成27年4月> 生涯発達論※ コミュニケーション論※ 看護の対象理解論 ボランティア活動 退院支援論※ 小児看護学概論※ 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 卒業研究 特別支援教育・看護合同演習※ SPP技術指導演習 多職種連携実践演習	専	教授(学部長)	大見 サキエ 61 <平成27年4月> 生涯発達論※ コミュニケーション論※ 看護の対象理解論 ボランティア活動 退院支援論※ 小児看護学概論※ 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 卒業研究 特別支援教育・看護合同演習※ SPP技術指導演習 多職種連携実践演習	専	教授(学部長)	大見 サキエ 62 <平成27年4月> 生涯発達論※ コミュニケーション論※ 看護の対象理解論 ボランティア活動 退院支援論※ 小児看護学概論※ 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 卒業研究 特別支援教育・看護合同演習※ SPP技術指導演習 多職種連携実践演習 多職種連携論※	専	教授(学部長)	大見 サキエ 63 平成27年4月> 生涯発達論※ コミュニケーション論※ 看護の対象理解論 ボランティア活動 退院支援論※ 小児看護学概論※ 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 卒業研究 特別支援教育・看護合同演習※ SPP技術指導演習 多職種連携実践演習 多職種連携論※	専	教授(学部長)	大見 サキエ 64 平成27年4月> 生涯発達論※ コミュニケーション論※ 看護の対象理解論 ボランティア活動 退院支援論※ 小児看護学概論※ 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 卒業研究 特別支援教育・看護合同演習※ SPP技術指導演習 多職種連携実践演習 多職種連携論※ 看護概論※
専	教授	小河 育恵 65 <平成27年4月> 基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 生涯発達論※ 成人看護学概論 成人看護学援助論Ⅰ※ 成人看護学援助論Ⅱ※ がん看護援助論※ 成人看護学実習 卒業研究 終末期看護実習 継続看護実習 統合看護実習	専	教授	小河 育恵 65 <平成27年4月> 基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 生涯発達論※ 成人看護学概論 成人看護学援助論Ⅰ※ 成人看護学援助論Ⅱ※ がん看護援助論※ 成人看護学実習 卒業研究 終末期看護実習 継続看護実習 統合看護実習	専	教授	小河 育恵 66 <平成27年4月> 基礎セミナーⅠ 生涯発達論※ 成人看護学概論 成人看護学援助論Ⅰ※ 成人看護学援助論Ⅱ※ がん看護援助論※ 成人看護学実習 卒業研究 終末期看護実習 継続看護実習 統合看護実習	専	教授	小河 育恵 67 <平成27年4月> 生涯発達論※ 成人看護学概論 成人看護学援助論Ⅰ※ 成人看護学援助論Ⅱ※ がん看護援助論※ 成人看護学実習 卒業研究 終末期看護実習 継続看護実習 統合看護実習	専	教授	小河 育恵 68 <平成27年4月> 成人看護学概論 がん看護援助論※ 成人看護学実習 卒業研究 終末期看護実習 継続看護実習 統合看護実習
専	教授	人見 裕江 63 <平成27年10月> 基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 生涯発達論※ 多職種連携論※ 老年看護学概論 老年看護学援助論Ⅰ 老年看護学援助論Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 在宅看護概論※ 卒業研究 終末期看護実習 統合看護実習	専	教授	人見 裕江 63 <平成27年10月> 基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 生涯発達論※ 多職種連携論※ 老年看護学概論 老年看護学援助論Ⅰ 老年看護学援助論Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 在宅看護概論※ 卒業研究 終末期看護実習 統合看護実習	専	教授	人見 裕江 64 <平成27年10月> 基礎セミナーⅠ 生涯発達論※ 多職種連携論※ 老年看護学概論 老年看護学援助論Ⅰ 老年看護学援助論Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 在宅看護概論※ 卒業研究 終末期看護実習 統合看護実習 ボランティア概論	専	教授	人見 裕江 65 <平成27年10月> 基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 生涯発達論※ 多職種連携論※ 老年看護学概論 老年看護学援助論Ⅰ 老年看護学援助論Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 在宅看護概論※ 卒業研究 終末期看護実習 統合看護実習 ボランティア概論			
兼任	講師	人見 裕江 63 <平成27年4月> 多職種連携論※	兼任	講師	人見 裕江 63 <平成27年4月> 多職種連携論※									
専	教授	松宮 良子 61 <平成27年4月> 基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 基礎看護学実習Ⅰ 母性看護学概論 母性看護学援助論Ⅰ※ 母性看護学援助論Ⅱ※ 母性看護学実習 研究の基礎※ 卒業研究 SPP技術指導演習 多職種連携実践演習 統合看護実習	専	教授	松宮 良子 61 <平成27年4月> 基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 基礎看護学実習Ⅰ 母性看護学概論 母性看護学援助論Ⅰ※ 母性看護学援助論Ⅱ※ 母性看護学実習 研究の基礎※ 卒業研究 SPP技術指導演習 多職種連携実践演習 統合看護実習	専	教授	松宮 良子 62 <平成27年4月> 基礎セミナーⅠ 基礎看護学実習Ⅰ 母性看護学概論 母性看護学援助論Ⅰ※ 母性看護学援助論Ⅱ※ 母性看護学実習 研究の基礎※ 卒業研究 SPP技術指導演習 多職種連携実践演習 統合看護実習	専	教授	松宮 良子 63 <平成27年4月> 基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 基礎看護学実習Ⅰ 母性看護学概論 母性看護学援助論Ⅰ※ 母性看護学援助論Ⅱ※ 母性看護学実習 研究の基礎※ 卒業研究 SPP技術指導演習 多職種連携実践演習 統合看護実習	専	教授	松宮 良子 64 <平成27年4月> 基礎セミナーⅡ 母性看護学概論 母性看護学援助論Ⅰ※ 母性看護学援助論Ⅱ※ 母性看護学実習 研究の基礎※ 卒業研究 統合看護実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	小林 純子 53 <平成27年4月>
		基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 多職種連携論※ 退院支援論※ 精神看護学概論 精神看護学援助論Ⅰ※ 精神看護学援助論Ⅱ 精神看護学実習 卒業研究 終末期看護実習 統合看護実習
専	教授	梅津 博紀 64 <平成27年4月>
		基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 現代環境科学 生化学 栄養学※ 研究の基礎※ 卒業研究
専	教授	鷲野 嘉映 50 <平成27年4月>
		基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ ICT基礎 微生物学(感染、免疫を含む) 公衆衛生学と法規 疫学 保健統計学 卒業研究
専	教授	前田 尚子 57 <平成28年4月>
		基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 家族社会学 研究の基礎※ 卒業研究
専	准教授	佐藤 道子 64 <平成27年4月>
		基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ コミュニケーション論※ 看護学概論 診療援助技術論※ 生活援助技術演習 診療援助技術演習 7ip' 337&337 SPP技術演習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 卒業研究 看護教育論 統合看護実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	小林 純子 53 <平成27年4月>
		基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 多職種連携論※ 退院支援論※ 精神看護学概論 精神看護学援助論Ⅰ※ 精神看護学援助論Ⅱ 精神看護学実習 卒業研究 終末期看護実習 統合看護実習
専	教授	梅津 博紀 64 <平成27年4月>
		基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 現代環境科学 生化学 栄養学※ 研究の基礎※ 卒業研究
専	教授	鷲野 嘉映 50 <平成27年4月>
		基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ ICT基礎 微生物学(感染、免疫を含む) 公衆衛生学と法規 疫学 保健統計学 卒業研究
専	教授	前田 尚子 57 <平成28年4月>
		基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 家族社会学 研究の基礎※ 卒業研究
専	准教授	佐藤 道子 64 <平成27年4月>
		基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ コミュニケーション論※ 看護学概論 診療援助技術論※ 生活援助技術演習 診療援助技術演習 7ip' 337&337 SPP技術演習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 卒業研究 看護教育論 統合看護実習 看護教育論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	小林 純子 54 <平成27年4月>
		基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 多職種連携論※ 退院支援論※ 精神看護学概論 精神看護学援助論Ⅰ※ 精神看護学援助論Ⅱ 精神看護学実習 卒業研究 終末期看護実習 統合看護実習 ポランティア活動
専	教授	梅津 博紀 65 <平成27年4月>
		基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 現代環境科学 生化学 栄養学※ 研究の基礎※ 卒業研究
専	教授	鷲野 嘉映 51 <平成27年4月>
		基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ ICT基礎 微生物学(感染、免疫を含む) 公衆衛生学と法規 疫学 保健統計学 卒業研究
専	教授	前田 尚子 57 <平成28年4月>
		基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 家族社会学 研究の基礎※ 卒業研究
専	准教授	佐藤 道子 64 <平成27年4月>
		基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ コミュニケーション論※ 看護学概論 診療援助技術論※ 生活援助技術演習 診療援助技術演習 7ip' 337&337 SPP技術演習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 卒業研究 看護教育論 統合看護実習 看護教育論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	小林 純子 55 <平成27年4月>
		基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 多職種連携論※ 退院支援論※ 精神看護学概論 精神看護学援助論Ⅰ※ 精神看護学援助論Ⅱ 精神看護学実習 卒業研究 終末期看護実習 統合看護実習 ポランティア活動
専	教授	梅津 博紀 66 <平成27年4月>
		基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 現代環境科学 生化学 栄養学※ 研究の基礎※ 卒業研究
専	教授	鷲野 嘉映 51 <平成27年4月>
		基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ ICT基礎 微生物学(感染、免疫を含む) 公衆衛生学と法規 疫学 保健統計学 卒業研究 現代環境科学 研究の基礎※
専	教授	前田 尚子 58 <平成28年4月>
		基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 家族社会学 研究の基礎※ 卒業研究
専	准教授	佐藤 道子 64 <平成27年4月>
		基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ コミュニケーション論※ 看護学概論 診療援助技術論※ 生活援助技術演習 診療援助技術演習 7ip' 337&337 SPP技術演習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 卒業研究 看護教育論 統合看護実習 看護教育論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	小林 純子 56 <平成27年4月>
		基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 多職種連携論※ 退院支援論※ 精神看護学概論 精神看護学援助論Ⅰ※ 精神看護学援助論Ⅱ 精神看護学実習 卒業研究 終末期看護実習 統合看護実習 ポランティア活動
専	教授	梅津 博紀 67 <平成27年4月>
		基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 現代環境科学 生化学 栄養学※ 研究の基礎※ 卒業研究
専	教授	鷲野 嘉映 51 <平成27年4月>
		基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ ICT基礎 微生物学(感染、免疫を含む) 公衆衛生学と法規 疫学 保健統計学 卒業研究 現代環境科学 研究の基礎※
専	教授	前田 尚子 59 <平成28年4月>
		基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 家族社会学 研究の基礎※ 卒業研究
専	准教授	佐藤 道子 64 <平成27年4月>
		基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ コミュニケーション論※ 看護学概論 診療援助技術論※ 生活援助技術演習 診療援助技術演習 7ip' 337&337 SPP技術演習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 卒業研究 看護教育論 統合看護実習 看護教育論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月>	
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	担当授業科目名
								片山 由美 55 <平成28年9月> 基礎セミナーⅠ口 基礎セミナーⅡ 看護学概論 生活援助技術論 生活援助技術演習 診療援助技術演習 7(予) 8(予) 9(予) 看護過程 SPP技術演習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 卒業研究口 統合看護実習 看護倫理 看護教育論							
								佐藤 道子 67 <平成29年10月> 基礎セミナーⅠ口 基礎セミナーⅡ コミュニケーション論※ 看護学概論 生活援助技術論 生活援助技術演習 診療援助技術演習 7(予) 8(予) 9(予) 看護過程 SPP技術演習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 卒業研究口 看護教育論 統合看護実習							佐藤 道子 67 <平成29年10月> 基礎セミナーⅠ口 コミュニケーション論※ 看護学概論 生活援助技術論 生活援助技術演習 診療援助技術演習 7(予) 8(予) 9(予) 看護過程 SPP技術演習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 卒業研究口 看護教育論 統合看護実習
		谷口 恵美子 53 <平成27年4月> 基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ ボランティア活動 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護学概論※ 小児看護学援助論Ⅰ 小児看護学援助論Ⅱ※ 小児看護学援助論Ⅲ※ 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 卒業研究 特別支援教育・看護合同演習※ 災害看護論 国際看護論※ 海外研修 統合看護実習			谷口 恵美子 53 <平成27年4月> 基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ ボランティア活動 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護学概論※ 小児看護学援助論Ⅰ 小児看護学援助論Ⅱ※ 小児看護学援助論Ⅲ※ 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 卒業研究 特別支援教育・看護合同演習※ 災害看護論 国際看護論※ 海外研修 統合看護実習			谷口 恵美子 54 <平成27年4月> 基礎セミナーⅡ ボランティア活動 小児看護学概論※ 小児看護学援助論Ⅰ 小児看護学援助論Ⅱ※ 小児看護学援助論Ⅲ※ 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 卒業研究 特別支援教育・看護合同演習※ 災害看護論 国際看護論※ 海外研修 統合看護実習			谷口 恵美子 55 <平成27年4月> 基礎セミナーⅠ ボランティア活動 小児看護学概論※ 小児看護学援助論Ⅰ 小児看護学援助論Ⅱ※ 小児看護学援助論Ⅲ※ 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 卒業研究 特別支援教育・看護合同演習※ 災害看護論 国際看護論※ 海外研修 統合看護実習			谷口 恵美子 56 <平成27年4月> 基礎セミナーⅡ ボランティア活動 小児看護学概論※ 小児看護学援助論Ⅰ 小児看護学援助論Ⅱ※ 小児看護学援助論Ⅲ※ 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 卒業研究 特別支援教育・看護合同演習※ 災害看護論 国際看護論※ 海外研修 統合看護実習	
		服島 景子 41 <平成27年4月> 基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ クリニカルコミュニケーション 老年看護学実習Ⅰ 在宅看護援助論※ 在宅看護論実習 卒業研究 国際看護論※ 海外研修 SPP技術指導演習 終末期看護実習 統合看護実習			服島 景子 41 <平成27年4月> 基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ クリニカルコミュニケーション 老年看護学実習Ⅰ 在宅看護援助論※ 在宅看護論実習 卒業研究 国際看護論※ 海外研修 SPP技術指導演習 終末期看護実習 統合看護実習			服島 景子 42 <平成27年4月> 基礎セミナーⅡ クリニカルコミュニケーション 老年看護学実習Ⅰ 在宅看護援助論※ 在宅看護論実習 卒業研究 国際看護論※ 海外研修 SPP技術指導演習 終末期看護実習 統合看護実習			服島 景子 43 <平成27年4月> 基礎セミナーⅠ クリニカルコミュニケーション 在宅看護援助論※ 在宅看護論実習 卒業研究 国際看護論※ 海外研修 SPP技術指導演習 終末期看護実習 統合看護実習			服島 景子 44 <平成27年4月> 基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ クリニカルコミュニケーション 在宅看護援助論※ 在宅看護論実習 卒業研究 国際看護論※ 海外研修 統合看護実習	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	
専	専任講師	狩野 雅道 55 <平成27年4月>	基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学援助論Ⅰ※ 成人看護学援助論Ⅱ※ 成人看護学実習 卒業研究 救急看護 終末期看護実習 継続看護実習 統合看護実習													
				専	専任講師	岡本 華枝 43 <平成28年4月>	基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学援助論Ⅰ※ 成人看護学援助論Ⅱ※ 成人看護学実習 卒業研究 救急看護 終末期看護実習 継続看護実習 統合看護実習 老年看護学実習Ⅰ□ 多職種連携実習講演					専	専任講師	岡本 華枝 43 <平成28年4月>	基礎セミナーⅡ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学援助論Ⅰ※ 成人看護学援助論Ⅱ※ 成人看護学実習 卒業研究 救急看護 終末期看護実習 継続看護実習 統合看護実習 老年看護学実習Ⅰ□ 多職種連携実習講演	
専	専任講師	魚住 郁子 51 <平成27年4月>	基礎セミナーⅠ□ 基礎セミナーⅡ 看護の対象理解論 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 卒業研究□ 終末期看護実習 継続看護実習 統合看護実習	専	専任講師	魚住 郁子 51 <平成27年4月>	基礎セミナーⅠ□ 基礎セミナーⅡ 看護の対象理解論 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 卒業研究□ 終末期看護実習 継続看護実習 統合看護実習									
								専	助教	近藤 裕子 38 <平成29年4月>	基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 看護の対象理解論 老年看護学援助論Ⅰ※ 老年看護学援助論Ⅱ※ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 卒業研究 統合看護実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 継続看護実習 統合看護実習		専	助教	近藤 裕子 39 <平成29年4月>	基礎セミナーⅡ 看護の対象理解論 老年看護学援助論Ⅰ※ 老年看護学援助論Ⅱ※ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ
専	専任講師	高橋 由美子 57 <平成27年4月>	基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 生涯発達論※ ボランティア活動 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護学概論※ 小児看護学援助論Ⅰ 小児看護学援助論Ⅱ※ 小児看護学援助論Ⅲ※ 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 卒業研究 特別支援教育・看護合同実習※ 統合看護実習	専	専任講師	高橋 由美子 57 <平成27年4月>	基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 生涯発達論※ ボランティア活動 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護学概論※ 小児看護学援助論Ⅰ 小児看護学援助論Ⅱ※ 小児看護学援助論Ⅲ※ 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 卒業研究 特別支援教育・看護合同実習※ 統合看護実習					専	専任講師	高橋 由美子 58 <平成27年4月>	基礎セミナーⅠ 生涯発達論※ ボランティア活動 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護学概論※ 小児看護学援助論Ⅰ 小児看護学援助論Ⅱ※ 小児看護学援助論Ⅲ※ 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 卒業研究 特別支援教育・看護合同実習※ 統合看護実習	
								専	専任講師	高橋 由美子 59 <平成27年4月>	基礎セミナーⅡ 生涯発達論※ ボランティア活動 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護学概論※ 小児看護学援助論Ⅰ 小児看護学援助論Ⅱ※ 小児看護学援助論Ⅲ※ 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 卒業研究 特別支援教育・看護合同実習※ 統合看護実習		専	専任講師	高橋 由美子 60 <平成27年4月>	基礎セミナーⅡ 生涯発達論※ ボランティア活動 小児看護学概論※ 小児看護学援助論Ⅰ 小児看護学援助論Ⅱ※ 小児看護学援助論Ⅲ※ 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 卒業研究 特別支援教育・看護合同実習※ 統合看護実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	小西 真人 33 <平成27年4月>
		基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ コミュニケーション論※ 生活援助技術論※ 生活援助技術演習 診療援助技術演習 7/31'3&7'3&7'3 SPP技術演習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 継続看護実習 統合看護実習 看護過程
専	助教	西村 淳子 39 <平成27年4月>
		基礎セミナーⅠ口 基礎セミナーⅡ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学援助論Ⅰ※ 成人看護学援助論Ⅱ※ 成人看護学実習口 卒業研究 終末期看護実習 継続看護実習 統合看護実習 公衆衛生看護学実習Ⅱ
専	助教	黒木 千恵 39 <平成27年4月>
		基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 母性看護学援助論Ⅰ※ 母性看護学援助論Ⅱ※ 母性看護学実習 卒業研究 継続看護実習 統合看護実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	小西 真人 33 <平成27年4月>
		基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ コミュニケーション論※ 生活援助技術論※ 生活援助技術演習 診療援助技術演習 7/31'3&7'3&7'3 SPP技術演習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 継続看護実習 統合看護実習 看護過程
専	助教	西村 淳子 39 <平成27年4月>
		基礎セミナーⅠ口 基礎セミナーⅡ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学援助論Ⅰ※ 成人看護学援助論Ⅱ※ 成人看護学実習口 卒業研究 終末期看護実習 継続看護実習 統合看護実習 公衆衛生看護学実習Ⅱ
専	助教	黒木 千恵 39 <平成27年4月>
		基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 母性看護学援助論Ⅰ※ 母性看護学援助論Ⅱ※ 母性看護学実習 卒業研究 継続看護実習 統合看護実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	小西 真人 34 <平成27年4月>
		コミュニケーション論※ 生活援助技術論※ 生活援助技術演習 診療援助技術演習 7/31'3&7'3&7'3 SPP技術演習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 継続看護実習 統合看護実習 看護過程
専	助教	黒木 千恵 40 <平成27年4月>
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 母性看護学援助論Ⅰ※ 母性看護学援助論Ⅱ※ 母性看護学実習 卒業研究 継続看護実習 統合看護実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	小西 真人 35 <平成27年4月>
		コミュニケーション論※ 生活援助技術論※ 生活援助技術演習 診療援助技術演習 7/31'3&7'3&7'3 SPP技術演習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 継続看護実習 統合看護実習 看護過程
専	助教	梶原 志保子 45 <平成29年10月>
		基礎セミナーⅠ口 基礎セミナーⅡ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学援助論Ⅰ※ 成人看護学援助論Ⅱ※ 成人看護学実習口 卒業研究 終末期看護実習 継続看護実習 統合看護実習 SPP技術指導演習 老年看護学実習Ⅰ
専	助教	黒木 千恵 41 <平成27年4月>
		母性看護学援助論Ⅰ※ 母性看護学援助論Ⅱ※ 母性看護学実習 卒業研究 継続看護実習 統合看護実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	小西 真人 36 <平成27年4月>
		基礎セミナーⅠ コミュニケーション論※ 生活援助技術論※ 生活援助技術演習 診療援助技術演習 7/31'3&7'3&7'3 SPP技術演習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 継続看護実習 統合看護実習 看護過程 卒業研究
専	専任講師	森 京子 37 <平成30年4月>
		基礎セミナーⅠ口 成人看護学援助論Ⅰ※ 成人看護学援助論Ⅱ※ 成人看護学実習口 卒業研究 終末期看護実習 継続看護実習 統合看護実習 がん看護援助論※
専	助教	黒木 千恵 42 <平成27年4月>
		基礎セミナーⅠ 母性看護学援助論Ⅰ※ 母性看護学援助論Ⅱ※ 母性看護学実習 卒業研究 継続看護実習 統合看護実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	深谷 由美 44 <平成27年4月> 基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ 在宅看護援助論 在宅看護論実習 卒業研究 特別支援教育・看護合同演習 SPP技術指導演習 多職種連携実践演習 終末期看護実習 継続看護実習 統合看護実習
兼任	教授	竹本 康史 59 <平成27年4月> スポーツⅠ スポーツⅡ
兼任	教授	森 美喜夫 64 <平成27年4月> スポーツⅠ スポーツⅡ
兼任	教授	丹羽 都美 55 <平成27年4月> 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	深谷 由美 44 <平成27年4月> 基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ 在宅看護援助論 在宅看護論実習 卒業研究 特別支援教育・看護合同演習 SPP技術指導演習 多職種連携実践演習 終末期看護実習 継続看護実習 統合看護実習
兼任	教授	竹本 康史 59 <平成27年4月> スポーツⅠ スポーツⅡ
兼任	教授	森 美喜夫 64 <平成27年4月> スポーツⅠ スポーツⅡ
兼任	教授	丹羽 都美 55 <平成27年4月> 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	深谷 由美 45 <平成27年4月> 基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ 在宅看護援助論 在宅看護論実習 卒業研究 特別支援教育・看護合同演習 SPP技術指導演習 多職種連携実践演習 終末期看護実習 継続看護実習 統合看護実習
兼任	准教授	スピリ ジョン 54 <平成28年4月> 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	深谷 由美 46 <平成27年4月> 基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 老年看護学実習Ⅰ 在宅看護援助論 在宅看護論実習 卒業研究 特別支援教育・看護合同演習 SPP技術指導演習 多職種連携実践演習 終末期看護実習 継続看護実習 統合看護実習
兼任	准教授	栗田 美穂子 51 <平成29年10月> 基礎セミナーⅠ 基礎セミナーⅡ 老年看護学援助論Ⅰ※ 老年看護学援助論Ⅱ※ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 卒業研究 統合看護実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ SPP技術指導演習 継続看護実習 終末期看護実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	深谷 由美 47 <平成27年4月> 基礎セミナーⅡ 在宅看護援助論 在宅看護論実習 卒業研究 特別支援教育・看護合同演習
兼任	教授	栗田 美穂子 52 <平成29年10月> 老年看護学援助論Ⅰ※ 老年看護学援助論Ⅱ※ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ
専	助教	尾関 唯未 42 <平成30年4月> 公衆衛生看護援助論Ⅰ※ 公衆衛生看護援助論Ⅱ※ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 基礎セミナーⅠ 継続看護実習 多職種連携実践演習
専	助教	白木 京子 48 <平成30年4月> 母性看護学援助論Ⅰ※ 母性看護学援助論Ⅱ※ 母性看護学実習 統合看護実習 継続看護実習
兼任	教授	竹本 康史 62 <平成27年4月> スポーツⅠ スポーツⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	熊沢 秀哉 51 ＜平成27年4月＞ ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ
兼任	教授	劉 一之 59 ＜平成27年4月＞ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
兼任	教授	矢野 賀子 62 ＜平成28年4月＞ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	教授	吉田 俊和 65 ＜平成27年4月＞ 心理学
兼任	教授	吉永 和加 46 ＜平成27年4月＞ 哲学
兼任	教授	斎藤 孝 58 ＜平成27年4月＞ 日本国憲法
兼任	教授	柏木 良明 57 ＜平成27年4月＞ 災害と危機管理
兼任	教授	河野 公洋 50 ＜平成27年4月＞ キャリアアプラン※
兼任	教授	上垣 渉 67 ＜平成27年4月＞ 数学
兼任	教授	秋山 晶則 54 ＜平成27年4月＞ 岐阜学※
兼任	教授	伊藤 薫 64 ＜平成27年4月＞ 岐阜学※
兼任	教授	早矢仕 晶子 50 ＜平成27年4月＞ 芸術論※
兼任	教授	赤塚 大樹 68 ＜平成29年4月＞ 臨床心理学 臨床心理学(中等) 教育相談の理論と方法
兼任	教授	小林 直樹 63 ＜平成28年4月＞ 教師論(中等) 教育基礎論(中等) 生徒指導論 教職実践演習(養護教諭)※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	熊沢 秀哉 51 ＜平成27年4月＞ ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ
兼任	教授	劉 一之 59 ＜平成27年4月＞ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
兼任	教授	矢野 賀子 62 ＜平成28年4月＞ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	教授	吉田 俊和 65 ＜平成27年4月＞ 心理学
兼任	教授	吉永 和加 46 ＜平成27年4月＞ 哲学
兼任	専任講師	森田 匡俊 36 ＜平成27年4月＞ 災害と危機管理
兼任	教授	河野 公洋 50 ＜平成27年4月＞ キャリアアプラン※
兼任	教授	上垣 渉 67 ＜平成27年4月＞ 数学
兼任	教授	秋山 晶則 54 ＜平成27年4月＞ 岐阜学※
兼任	教授	伊藤 薫 64 ＜平成27年4月＞ 岐阜学※
兼任	教授	早矢仕 晶子 50 ＜平成27年4月＞ 芸術論※
兼任	教授	赤塚 大樹 68 ＜平成29年4月＞ 臨床心理学 臨床心理学(中等) 教育相談の理論と方法
兼任	教授	小林 直樹 63 ＜平成28年4月＞ 教師論 教育基礎論 生徒指導論 教職実践演習(養護教諭)※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	熊沢 秀哉 52 ＜平成27年4月＞ ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ
兼任	教授	劉 一之 60 ＜平成27年4月＞ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
兼任	教授	矢野 賀子 62 ＜平成28年4月＞ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
兼任	教授	中島 利郎 69 ＜平成28年4月＞ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	准教授	横久保 義洋 48 ＜平成28年4月＞ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	教授	吉田 俊和 66 ＜平成27年4月＞ 心理学
兼任	教授	吉永 和加 47 ＜平成27年4月＞ 哲学
兼任	専任講師	森田 匡俊 37 ＜平成27年4月＞ 災害と危機管理
兼任	教授	河野 公洋 51 ＜平成27年4月＞ キャリアアプラン※
兼任	教授	上垣 渉 68 ＜平成27年4月＞ 数学
兼任	教授	秋山 晶則 55 ＜平成27年4月＞ 岐阜学※
兼任	教授	伊藤 薫 65 ＜平成27年4月＞ 岐阜学※
兼任	教授	早矢仕 晶子 51 ＜平成27年4月＞ 芸術論※
兼任	教授	赤塚 大樹 69 ＜平成29年4月＞ 臨床心理学 臨床心理学(中等) 教育相談の理論と方法
兼任	教授	小林 直樹 64 ＜平成28年4月＞ 教師論 教育基礎論 生徒指導論 教職実践演習(養護教諭)※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	熊沢 秀哉 53 ＜平成27年4月＞ ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ
兼任	教授	劉 一之 61 ＜平成27年4月＞ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
兼任	教授	矢野 賀子 63 ＜平成28年4月＞ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
兼任	准教授	横久保 義洋 49 ＜平成28年4月＞ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	教授	吉田 俊和 67 ＜平成27年4月＞ 心理学
兼任	教授	吉永 和加 48 ＜平成27年4月＞ 哲学
兼任	専任講師	森田 匡俊 38 ＜平成27年4月＞ 災害と危機管理
兼任	教授	河野 公洋 52 ＜平成27年4月＞ キャリアアプラン※
兼任	教授	鈴木 明裕 58 ＜平成29年4月＞ 数学
兼任	教授	秋山 晶則 56 ＜平成27年4月＞ 岐阜学※
兼任	教授	伊藤 薫 66 ＜平成27年4月＞ 岐阜学※
兼任	教授	早矢仕 晶子 52 ＜平成27年4月＞ 芸術論※
兼任	教授	赤塚 大樹 70 ＜平成29年4月＞ 臨床心理学 臨床心理学(中等) 教育相談の理論と方法
兼任	教授	小林 直樹 65 ＜平成28年4月＞ 教師論 教育基礎論 生徒指導論 教職実践演習(養護教諭)※
兼任	教授	玉置 兼 60 ＜平成29年4月＞ 教師論 生徒指導論 教育課程

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	熊沢 秀哉 54 ＜平成27年4月＞ ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ
兼任	教授	劉 一之 62 ＜平成27年4月＞ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
兼任	教授	矢野 賀子 64 ＜平成28年4月＞ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
兼任	准教授	横久保 義洋 50 ＜平成28年4月＞ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	教授	吉田 俊和 68 ＜平成27年4月＞ 心理学
兼任	教授	吉永 和加 49 ＜平成27年4月＞ 哲学
兼任	専任講師	森田 匡俊 39 ＜平成27年4月＞ 災害と危機管理
兼任	教授	河野 公洋 53 ＜平成27年4月＞ キャリアアプラン※
兼任	教授	鈴木 明裕 59 ＜平成29年4月＞ 数学
兼任	教授	秋山 晶則 57 ＜平成27年4月＞ 岐阜学※
兼任	教授	伊藤 薫 67 ＜平成27年4月＞ 岐阜学※
兼任	教授	早矢仕 晶子 53 ＜平成27年4月＞ 芸術論※
兼任	教授	赤塚 大樹 71 ＜平成29年4月＞ 臨床心理学 臨床心理学(中等) 教育相談の理論と方法
兼任	教授	小林 直樹 65 ＜平成28年4月＞ 教師論 教育基礎論 生徒指導論 教職実践演習(養護教諭)※
兼任	教授	玉置 兼 61 ＜平成29年4月＞ 生徒指導論 教育課程

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	諫 西賢 65 <平成30年10月> 教職実践演習(美護教諭)※
兼任	准教授	小栗 和雄 41 <平成27年4月> スポーツⅠ スポーツⅡ
兼任	准教授	高村 和代 46 <平成27年4月> ジェンダー論 発達心理学(中等)
兼任	准教授	阿部 慶賀 37 <平成27年10月> 心理学 教育評価(中等)
兼任	准教授	大成 利広 49 <平成27年4月> キャリアプラン※
兼任	准教授	真鍋 顕久 46 <平成27年4月> 社会福祉概論 家族と社会保障
兼任	准教授	安藤 史高 42 <平成28年4月> 教育心理学(中等)
兼任	准教授	吉橋 由香 38 <平成29年4月> 障害児教育学(中等) 教育相談(中等)
兼任	准教授	芳賀 高洋 47 <平成29年4月> 教育情報方法論(中等)
兼任	専任講師	煙山 千尋 33 <平成27年4月> スポーツⅠ スポーツⅡ
兼任	専任講師	田中 幸作 61 <平成27年4月> フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	専任講師	長尾 純 40 <平成27年4月> 異文化論
兼任	専任講師	三山 緑 41 <平成28年10月> 教育の社会制度論(中等) 教育行政学(中等)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	諫 西賢 65 <平成30年10月> 教職実践演習(美護教諭)※
兼任	准教授	小栗 和雄 41 <平成27年4月> スポーツⅠ スポーツⅡ
兼任	准教授	高村 和代 46 <平成27年4月> ジェンダー論 発達心理学
兼任	教授	中島 利郎 68 <平成27年4月> ジェンダー論
兼任	准教授	阿部 慶賀 37 <平成27年10月> 心理学 教育評価
兼任	准教授	大成 利広 49 <平成27年4月> キャリアプラン※
兼任	准教授	真鍋 顕久 46 <平成27年4月> 社会福祉概論
兼任	准教授	安藤 史高 42 <平成28年4月> 教育心理学
兼任	准教授	吉橋 由香 38 <平成29年4月> 障害児教育学 教育相談
兼任	准教授	芳賀 高洋 47 <平成29年4月> 教育情報方法論
兼任	専任講師	煙山 千尋 33 <平成27年4月> スポーツⅠ スポーツⅡ
兼任	専任講師	田中 幸作 61 <平成27年4月> フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	専任講師	長尾 純 40 <平成27年4月> 異文化論
兼任	専任講師	三山 緑 41 <平成28年10月> 教育の社会制度論 教育行政学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	諫 西賢 65 <平成30年10月> 教職実践演習(美護教諭)※
兼任	准教授	小栗 和雄 42 <平成27年4月> スポーツⅠ
兼任	准教授	高村 和代 47 <平成27年4月> 発達心理学 心療学
兼任	教授	河原崎 やす子 65 <平成28年4月> ジェンダー論
兼任	准教授	阿部 慶賀 38 <平成27年10月> 心理学 教育評価
兼任	准教授	大成 利広 50 <平成27年4月> キャリアプラン※
兼任	准教授	真鍋 顕久 47 <平成27年4月> 社会福祉概論
兼任	准教授	安藤 史高 42 <平成28年4月> 教育心理学
兼任	准教授	芳賀 高洋 47 <平成29年4月> 教育情報方法論
兼任	専任講師	煙山 千尋 34 <平成27年4月> スポーツⅠ スポーツⅡ
兼任	専任講師	田中 幸作 62 <平成27年4月> フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	専任講師	長尾 純 41 <平成27年4月> 異文化論
兼任	専任講師	三山 緑 41 <平成28年10月> 教育の社会制度論 教育行政学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	諫 西賢 65 <平成30年10月> 教職実践演習(美護教諭)※
兼任	准教授	小栗 和雄 43 <平成27年4月> スポーツⅠ
兼任	准教授	高村 和代 48 <平成27年4月> 発達心理学 心療学 コミュニケーション論※
兼任	教授	河原崎 やす子 66 <平成28年4月> ジェンダー論
兼任	准教授	阿部 慶賀 39 <平成27年10月> 心理学 教育評価
兼任	准教授	大成 利広 51 <平成27年4月> キャリアプラン※
兼任	准教授	真鍋 顕久 48 <平成27年4月> 社会福祉概論
兼任	准教授	安藤 史高 43 <平成28年4月> 教育心理学
兼任	准教授	芳賀 高洋 47 <平成29年4月> 教育情報方法論
兼任	専任講師	煙山 千尋 35 <平成27年4月> スポーツⅠ
兼任	教授	稲垣 良介 47 <平成29年4月> スポーツⅡ
兼任	准教授	大塚 貴史 42 <平成30年10月> スポーツⅡ
兼任	専任講師	田中 幸作 62 <平成27年4月> フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	専任講師	長尾 純 42 <平成27年4月> 異文化論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	富田 福代 64 <平成30年4月> 教育基礎論 教師論
兼任	教授	諫 西賢 65 <平成30年10月> 教職実践演習(美護教諭)※ 教育実践の理論と方法※
兼任	教授	高村 和代 49 <平成27年4月> 発達心理学 心療学
兼任	教授	河原崎 やす子 67 <平成28年4月> ジェンダー論
兼任	准教授	阿部 慶賀 40 <平成27年10月> 心理学 教育評価
兼任	准教授	大成 利広 52 <平成27年4月> キャリアプラン※
兼任	准教授	真鍋 顕久 49 <平成27年4月> 社会福祉概論
兼任	教授	安藤 史高 44 <平成28年4月> 教育心理学
兼任	教授	稲垣 良介 48 <平成29年4月> スポーツⅠ
兼任	准教授	大塚 貴史 42 <平成30年10月> スポーツⅡ
兼任	専任講師	煙山 千尋 36 <平成27年4月> スポーツⅠ
兼任	教授	稲垣 良介 48 <平成29年4月> スポーツⅠ
兼任	准教授	大塚 貴史 42 <平成30年10月> スポーツⅡ
兼任	専任講師	田中 幸作 62 <平成27年4月> フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	専任講師	長尾 純 43 <平成27年4月> 異文化論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	専任講師	中島 葉子 40 ＜平成29年4月＞ 教育社会学(中等) 教職実践演習(英語教諭)※
兼任	講師	蛭川 祥美 49 ＜平成27年4月＞ 英数学Ⅰ 英数学Ⅱ
兼任	講師	長 かおり 54 ＜平成27年4月＞ スポーツⅠ スポーツⅡ
兼任	講師	上松 美由紀 52 ＜平成27年4月＞ スポーツⅠ スポーツⅡ
兼任	講師	内藤 謙 47 ＜平成27年4月＞ スポーツⅠ スポーツⅡ
兼任	講師	ファンベトホ・オノ 49 ＜平成27年4月＞ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	レボルト・ステファン 53 ＜平成27年4月＞ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	プレスコッド・ランディヤストン 44 ＜平成27年4月＞ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	専任講師	中島 葉子 40 ＜平成29年4月＞ 教育社会学 教職実践演習(英語教諭)※
兼任	講師	蛭川 祥美 49 ＜平成27年4月＞ 英数学Ⅰ 英数学Ⅱ
兼任	講師	長 かおり 54 ＜平成27年4月＞ スポーツⅠ スポーツⅡ
兼任	講師	上松 美由紀 52 ＜平成27年4月＞ スポーツⅠ スポーツⅡ
兼任	講師	内藤 謙 47 ＜平成27年4月＞ スポーツⅠ スポーツⅡ
兼任	講師	ファンベトホ・オノ 49 ＜平成27年4月＞ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	レボルト・ステファン 53 ＜平成27年4月＞ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	プレスコッド・ランディヤストン 44 ＜平成27年4月＞ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	専任講師	中島 葉子 40 ＜平成29年4月＞ 教育社会学 教職実践演習(英語教諭)※
兼任	教授	成田 幸夫 68 ＜平成28年10月＞ 特別指導の指導法
兼任	講師	蛭川 祥美 50 ＜平成27年4月＞ 英数学Ⅰ 英数学Ⅱ
兼任	講師	長 かおり 55 ＜平成27年4月＞ スポーツⅠ スポーツⅡ
兼任	講師	上松 美由紀 53 ＜平成27年4月＞ スポーツⅠ スポーツⅡ
兼任	講師	堀内 元 27 ＜平成28年4月＞ スポーツⅠ スポーツⅡ
兼任	講師	ファンベトホ・オノ 50 ＜平成27年4月＞ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	イアン・ハーネット 69 ＜平成29年4月＞ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	キートリー・アレグザンダー 46 ＜平成28年4月＞ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	プレスコッド・ランディヤストン 45 ＜平成27年4月＞ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	専任講師	中島 葉子 40 ＜平成29年4月＞ 教育社会学 教職実践演習(英語教諭)※ 教育の社会制度論
兼任	教授	成田 幸夫 69 ＜平成28年10月＞ 特別指導の指導法
兼任	准教授	龍崎 忠 43 ＜平成29年4月＞ 教育課程論
兼任	准教授	宮野 裕 44 ＜平成29年4月＞ 異文化論
兼任	講師	蛭川 祥美 51 ＜平成27年4月＞ 英数学Ⅰ 英数学Ⅱ
兼任	講師	長 かおり 56 ＜平成27年4月＞ スポーツⅠ スポーツⅡ
兼任	講師	上松 美由紀 54 ＜平成27年4月＞ スポーツⅠ スポーツⅡ
兼任	講師	柿島 新太郎 32 ＜平成29年4月＞ スポーツⅠ スポーツⅡ
兼任	講師	イアン・ハーネット 69 ＜平成29年4月＞ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	キートリー・アレグザンダー 47 ＜平成28年4月＞ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	プレスコッド・ランディヤストン 46 ＜平成27年4月＞ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	中島 葉子 41 ＜平成29年4月＞ 教育社会学 教職実践演習(英語教諭)※ 教育の社会制度論
兼任	教授	成田 幸夫 70 ＜平成28年10月＞ 特別指導の指導法 教育行政学
兼任	教授	龍崎 忠 44 ＜平成29年4月＞ 教育課程論
兼任	准教授	宮野 裕 45 ＜平成29年4月＞ 異文化論
兼任	講師	蛭川 祥美 52 ＜平成27年4月＞ 英数学Ⅰ 英数学Ⅱ
兼任	講師	長 かおり 57 ＜平成27年4月＞ スポーツⅠ スポーツⅡ
兼任	講師	林 隆平 29 ＜平成30年4月＞ スポーツⅠ スポーツⅡ
兼任	講師	柿島 新太郎 33 ＜平成29年4月＞ スポーツⅠ スポーツⅡ
兼任	講師	小椋 優作 26 ＜平成30年10月＞ スポーツⅡ
兼任	講師	ウルック・アンドリュウ 47 ＜平成30年4月＞ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	キートリー・アレグザンダー 48 ＜平成28年4月＞ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	ギヤカー・イアン 40 ＜平成30年4月＞ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	澤田 元史 49 ＜平成28年4月＞ <small>病態治療学Ⅱ※</small>
兼任	講師	福田 雅 52 ＜平成28年4月＞ <small>病態治療学Ⅱ※</small>
兼任	講師	松波 和寿 57 ＜平成28年4月＞ <small>病態治療学Ⅳ※</small>
兼任	講師	林 照恵 57 ＜平成28年4月＞ <small>病態治療学Ⅳ※</small>
兼任	講師	小林 建司 55 ＜平成28年4月＞ <small>病態治療学Ⅳ※</small>
兼任	講師	武藤 吉徳 60 ＜平成28年10月＞ <small>遺伝情報学</small>
兼任	講師	高村 光幸 41 ＜平成29年4月＞ <small>薬理学</small>
兼任	講師	由利 陽子 48 ＜平成29年4月＞ <small>代替補充療法※</small>
兼任	講師	清水 啓子 67 ＜平成29年4月＞ <small>代替補充療法※</small>
兼任	講師	原 大介 49 ＜平成27年4月＞ <small>日本語※</small>
兼任	講師	黒坂 美智代 57 ＜平成27年4月＞ <small>日本語※</small>
兼任	講師	日置 敦巳 60 ＜平成28年10月＞ <small>保健医療福祉行政論</small>
兼任	講師	大野 智裕 56 ＜平成28年10月＞ <small>精神看護学援助論Ⅰ※</small>
兼任	講師	安田 和夫 61 ＜平成30年4月＞ <small>特別支援教育・看護合同演習※</small>
兼任	講師	青木 廣康 61 ＜平成30年4月＞ <small>特別支援教育・看護合同演習※</small>
兼任	講師	松本 和久 48 ＜平成30年4月＞ <small>特別支援教育・看護合同演習※</small>
兼任	講師	飯田 孝栄 58 ＜平成28年4月＞ <small>学校保健 介護概説 健康保健活動 介護教諭実習 教職実践演習(介護教諭)※</small>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	澤田 元史 49 ＜平成28年4月＞ <small>病態治療学Ⅱ※</small>
兼任	講師	福田 雅 52 ＜平成28年4月＞ <small>病態治療学Ⅱ※</small>
兼任	講師	松波 和寿 57 ＜平成28年4月＞ <small>病態治療学Ⅳ※</small>
兼任	講師	林 照恵 57 ＜平成28年4月＞ <small>病態治療学Ⅳ※</small>
兼任	講師	小林 建司 55 ＜平成28年4月＞ <small>病態治療学Ⅳ※</small>
兼任	講師	武藤 吉徳 60 ＜平成28年10月＞ <small>遺伝情報学</small>
兼任	講師	高村 光幸 41 ＜平成29年4月＞ <small>薬理学</small>
兼任	講師	由利 陽子 48 ＜平成29年4月＞ <small>代替補充療法※</small>
兼任	講師	清水 啓子 67 ＜平成29年4月＞ <small>代替補充療法※</small>
兼任	講師	原 大介 49 ＜平成27年4月＞ <small>日本語※</small>
兼任	講師	黒坂 美智代 57 ＜平成27年4月＞ <small>日本語※</small>
兼任	講師	日置 敦巳 60 ＜平成28年10月＞ <small>保健医療福祉行政論</small>
兼任	講師	大野 智裕 56 ＜平成28年10月＞ <small>精神看護学援助論Ⅰ※</small>
兼任	教授	安田 和夫 61 ＜平成30年4月＞ <small>特別支援教育・看護合同演習※</small>
兼任	講師	青木 廣康 61 ＜平成30年4月＞ <small>特別支援教育・看護合同演習※</small>
兼任	准教授	松本 和久 48 ＜平成30年4月＞ <small>特別支援教育・看護合同演習※</small>
兼任	講師	飯田 孝栄 58 ＜平成28年4月＞ <small>学校保健 介護概説 健康保健活動 介護教諭実習 教職実践演習(介護教諭)※</small>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	澤田 元史 49 ＜平成28年4月＞ <small>病態治療学Ⅱ※</small>
兼任	講師	福田 雅 52 ＜平成28年4月＞ <small>病態治療学Ⅱ※</small>
兼任	講師	松波 和寿 57 ＜平成28年4月＞ <small>病態治療学Ⅳ※</small>
兼任	講師	林 照恵 57 ＜平成28年4月＞ <small>病態治療学Ⅳ※</small>
兼任	講師	小林 建司 55 ＜平成28年4月＞ <small>病態治療学Ⅳ※</small>
兼任	講師	武藤 吉徳 60 ＜平成28年10月＞ <small>遺伝情報学</small>
兼任	講師	高村 光幸 41 ＜平成29年4月＞ <small>薬理学</small>
兼任	講師	由利 陽子 48 ＜平成29年4月＞ <small>代替補充療法※</small>
兼任	講師	清水 啓子 67 ＜平成29年4月＞ <small>代替補充療法※</small>
兼任	講師	原 大介 50 ＜平成27年4月＞ <small>日本語※</small>
兼任	講師	黒坂 美智代 58 ＜平成27年4月＞ <small>日本語※</small>
兼任	講師	日置 敦巳 60 ＜平成28年10月＞ <small>保健医療福祉行政論</small>
兼任	講師	廣瀬 健二 47 ＜平成28年10月＞ <small>精神看護学援助論Ⅰ※</small>
兼任	教授	安田 和夫 61 ＜平成30年4月＞ <small>特別支援教育・看護合同演習※</small>
兼任	講師	青木 廣康 61 ＜平成30年4月＞ <small>特別支援教育・看護合同演習※</small>
兼任	准教授	松本 和久 48 ＜平成30年4月＞ <small>特別支援教育・看護合同演習※</small>
兼任	講師	飯田 孝栄 58 ＜平成28年4月＞ <small>学校保健 介護概説 健康保健活動 介護教諭実習 教職実践演習(介護教諭)※</small>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	澤田 元史 50 ＜平成28年4月＞ <small>病態治療学Ⅱ※</small>
兼任	講師	福田 雅 53 ＜平成28年4月＞ <small>病態治療学Ⅱ※</small>
兼任	講師	松波 和寿 58 ＜平成28年4月＞ <small>病態治療学Ⅳ※</small>
兼任	講師	林 照恵 58 ＜平成28年4月＞ <small>病態治療学Ⅳ※</small>
兼任	講師	關野 考史 51 ＜平成29年4月＞ <small>病態治療学Ⅳ※</small>
兼任	講師	武藤 吉徳 61 ＜平成28年10月＞ <small>遺伝情報学</small>
兼任	講師	高村 光幸 41 ＜平成29年4月＞ <small>薬理学</small>
兼任	講師	由利 陽子 48 ＜平成29年4月＞ <small>代替補充療法※</small>
兼任	講師	清水 啓子 67 ＜平成29年4月＞ <small>代替補充療法※</small>
兼任	講師	原 大介 51 ＜平成27年4月＞ <small>日本語※</small>
兼任	講師	黒坂 美智代 59 ＜平成27年4月＞ <small>日本語※</small>
兼任	講師	日置 敦巳 61 ＜平成28年10月＞ <small>保健医療福祉行政論</small>
兼任	講師	廣瀬 健二 48 ＜平成28年10月＞ <small>精神看護学援助論Ⅰ※</small>
兼任	教授	安田 和夫 61 ＜平成30年4月＞ <small>特別支援教育・看護合同演習※</small>
兼任	講師	青木 廣康 61 ＜平成30年4月＞ <small>特別支援教育・看護合同演習※</small>
兼任	准教授	松本 和久 48 ＜平成30年4月＞ <small>特別支援教育・看護合同演習※</small>
兼任	講師	飯田 孝栄 59 ＜平成28年4月＞ <small>学校保健 介護概説 健康保健活動 介護教諭実習 教職実践演習(介護教諭)※</small>
兼任	講師	山田 小夜子 67 ＜平成29年4月＞ <small>学校保健</small>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	澤田 元史 51 ＜平成28年4月＞ <small>病態治療学Ⅱ※</small>
兼任	講師	福田 雅 54 ＜平成28年4月＞ <small>病態治療学Ⅱ※</small>
兼任	講師	松波 和寿 59 ＜平成28年4月＞ <small>病態治療学Ⅳ※</small>
兼任	講師	林 照恵 59 ＜平成28年4月＞ <small>病態治療学Ⅳ※</small>
兼任	講師	關野 考史 52 ＜平成29年4月＞ <small>病態治療学Ⅳ※</small>
兼任	講師	武藤 吉徳 62 ＜平成28年10月＞ <small>遺伝情報学</small>
兼任	講師	由利 陽子 49 ＜平成29年4月＞ <small>代替補充療法※</small>
兼任	講師	清水 啓子 68 ＜平成29年4月＞ <small>代替補充療法※</small>
兼任	講師	原 大介 52 ＜平成27年4月＞ <small>日本語※</small>
兼任	講師	黒坂 美智代 60 ＜平成27年4月＞ <small>日本語※</small>
兼任	講師	日置 敦巳 62 ＜平成28年10月＞ <small>保健医療福祉行政論</small>
兼任	講師	廣瀬 健二 49 ＜平成28年10月＞ <small>精神看護学援助論Ⅰ※</small>
兼任	教授	安田 和夫 61 ＜平成30年4月＞ <small>特別支援教育・看護合同演習※</small>
兼任	講師	青木 廣康 61 ＜平成30年4月＞ <small>特別支援教育・看護合同演習※</small>
兼任	准教授	松本 和久 48 ＜平成30年4月＞ <small>特別支援教育・看護合同演習※</small>
兼任	講師	飯田 孝栄 59 ＜平成28年4月＞ <small>学校保健 介護概説 健康保健活動 介護教諭実習 教職実践演習(介護教諭)※</small>
兼任	講師	山田 小夜子 68 ＜平成29年4月＞ <small>学校保健</small>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	
	担当授業科目名		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	
							伊藤 美栄子 67 <平成30年4月> 保健師 健康相談指導 保健師免許 保健師免許(看護専攻) 保健師免許(保健師)※	
兼任	講師	菊池 真也 62 <平成28年10月> 教育課程論(中等) 道徳教育の指導法(中等)	菊池 真也 62 <平成28年10月> 教育課程論 道徳教育の指導法	菊池 真也 62 <平成28年10月> 教育課程論 道徳教育の指導法	菊池 真也 63 <平成28年10月> 道徳教育の指導法		河合 宣昌 62 <平成30年10月> 道徳教育の指導法	
兼任	講師	井深 吉男 69 <平成28年10月> 道徳教育の指導法(中等)	井深 吉男 69 <平成28年10月> 道徳教育の指導法					
兼任	講師	宮川 啓一 67 <平成28年10月> 特別活動の指導法(中等)	宮川 啓一 67 <平成28年10月> 特別活動の指導法					
兼任	講師	長谷川 信 47 <平成29年4月> 教育情報方法論(中等)	長谷川 信 47 <平成29年4月> 教育情報方法論	兼担 准教授	長谷川 信 47 <平成29年4月> 教育情報方法論	兼担 准教授	長谷川 信 48 <平成29年4月> 教育情報方法論	
兼任	講師	栗田 恭子 53 <平成28年4月> 医療安全※	栗田 恭子 53 <平成28年4月> 医療安全※	兼任	栗田 恭子 53 <平成28年4月> 医療安全※	兼任	栗田 恭子 54 <平成28年4月> 医療安全※	
兼任	講師	佐藤 絢子 38 <平成28年4月> 医療安全※	佐藤 絢子 38 <平成28年4月> 医療安全※					
				兼任	田中 広司 46 <平成28年4月> 医療安全※	兼任	田中 広司 47 <平成28年4月> 医療安全※	
兼任	講師	古澤 幸江 49 <平成30年4月> 看護管理論	古澤 幸江 49 <平成30年4月> 看護管理論	兼任	古澤 幸江 49 <平成30年4月> 看護管理論	兼任	古澤 幸江 49 <平成30年4月> 看護管理論	
兼任	講師	八島 妙子 66 <平成30年10月> 看護倫理	八島 妙子 66 <平成30年10月> 看護倫理	兼任	八島 妙子 66 <平成30年10月> 看護倫理	兼任	八島 妙子 66 <平成30年10月> 看護倫理	
			兼任	河川 尚子 48 <平成27年4月> 家族と社会科	兼任	河川 尚子 49 <平成27年4月> 家族と社会科	兼任	河川 尚子 50 <平成27年4月> 家族と社会科
			兼任	齊藤 正高 45 <平成27年4月> 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ				
				兼任	佐藤 道子 65 <平成28年4月> 看護学概論 フィジカルアセスメント コミュニケーション論※	兼任	佐藤 道子 66 <平成29年4月> 診療援助技術講習	
				兼任	米倉 康弥 55 <平成28年4月> 診療援助技術講習※ 診療援助技術講習			
				兼任	杉浦 美佐子 56 <平成28年10月> 看護概論			
				兼任	魚住 郁子 51 <平成28年4月> 習得の対症療法 老年看護学講習			
						兼任	林 由美子 57 <平成29年4月> 診療援助技術講習※	
						兼任	小松 万壽子 59 <平成29年4月> 看護学概論	
						兼任	後閑 容子 69 <平成29年4月> 全体的な看護実践問題※	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
兼任	講師	佐々木 裕子 55 ＜平成29年10月＞ 在宅習熟試験												
兼任	講師	栗田 孝子 72 ＜平成29年10月＞ 公衆衛生看護学履修※												
兼任	講師	野田 明敬 42 ＜平成29年4月＞ 医療観察技術履修※												
兼任	講師	土屋 マチ 38 ＜平成29年4月＞ 教育相談	兼任	講師	土屋 マチ 39 ＜平成29年4月＞ 教育相談									
兼任	講師	土井 みどり 47 ＜平成29年4月＞ フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ	兼任	講師	土井 みどり 49 ＜平成29年4月＞ フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ									
兼任	講師	榎橋 美知子 35 ＜平成29年4月＞ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ	兼任	講師	榎橋 美知子 36 ＜平成29年4月＞ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ									
兼任	講師	望月 雄介 30 ＜平成29年4月＞ 中国語コミュニケーションⅠ	兼任	講師	望月 雄介 31 ＜平成29年4月＞ 中国語コミュニケーションⅠ									
兼任	講師	片岡 愛 59 ＜平成29年4月＞ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ	兼任	講師	片岡 愛 60 ＜平成29年4月＞ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ									
兼任	講師	ケルック・マーク 54 ＜平成30年4月＞ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ	兼任	講師	ケルック・マーク 54 ＜平成30年4月＞ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ									
兼任	講師	鈴木 和代 68 ＜平成30年4月＞ 漢語文法履修※	兼任	講師	鈴木 和代 68 ＜平成30年4月＞ 漢語文法履修※									
兼任	講師	福田 峰子 53 ＜平成30年4月＞ 老年看護学履修 老年看護学履修Ⅰ※ 老年看護学履修Ⅱ※	兼任	講師	福田 峰子 53 ＜平成30年4月＞ 老年看護学履修 老年看護学履修Ⅰ※ 老年看護学履修Ⅱ※									
兼任	講師	天野 道代 64 ＜平成30年4月＞ 老年看護学履修Ⅰ※ 老年看護学履修Ⅱ※	兼任	講師	天野 道代 64 ＜平成30年4月＞ 老年看護学履修Ⅰ※ 老年看護学履修Ⅱ※									
兼任	講師	岡田 由香 55 ＜平成30年4月＞ 老年看護学履修Ⅱ※	兼任	講師	岡田 由香 55 ＜平成30年4月＞ 老年看護学履修Ⅱ※									
兼任	講師	後藤 真澄 64 ＜平成30年4月＞ 在宅習熟試験	兼任	講師	後藤 真澄 64 ＜平成30年4月＞ 在宅習熟試験									

(注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成27年度】

- ・狩野講師就任辞退。後任未定であるが、平成28年4月から専任教員採用予定で公募中。
- ・留意事項に対応するための「看護過程」を追加。佐藤道子、上田ゆみ子、岸あゆみ、中川名帆子、小西真人は平成27年2月AC教員審査済み。
- ・斎藤孝兼担教授が所属学部の都合で「日本国憲法」担当を辞退。磯村ひとみ兼任教員が就任年月を早めて就任。
- ・柏木良明兼担教授が所属学部の都合で「災害と危機管理」担当を辞退。森田匡俊兼担講師に変更。
- ・真鍋顕久兼担教授が所属学部の都合で「家族と社会保障」担当を辞退。河口尚子兼任教師に変更。
- ・課程認定申請の際に、授業科目(自由科目)名称変更。
 - 「教育相談の理論と方法」「教師論」「教育基礎論」「発達心理学」「教育評価」「教育心理学」「障害児教育学」「教育相談」「教育情報方法論」「教育の社会制度論」「教育行政学」「教育社会学」「教育課程論」「道徳教育の指導法」「特別活動の指導法」「情報教育方法論」
- ・授業内容の充実を図るため、中島利郎兼担教授を「ジェンダー論」担当に追加。
- ・赤松兼任講師が「病態治療学Ⅰ」担当を辞退。八十川雄因兼任講師に変更。
- ・安田和夫が兼任講師から兼担教授に変更。
- ・松本和久が兼任講師から兼担教授に変更。
- ・授業内容の充実を図るため、齊藤正高兼任講師を「中国語コミュニケーションⅠ」「中国語コミュニケーションⅡ」担当に追加。

【平成28年度】

- ・大見サキエ教授担当科目「多職種連携論」追加。平成27年12月AC教員審査済み。
- ・人見裕江教授担当科目「ボランティア活動」追加。平成27年12月AC教員審査済み。
- ・小林純子教授担当科目「ボランティア活動」追加。平成27年12月AC教員審査済み。
- ・平成28年3月佐藤道子准教授就任。平成28年9月片山由美准教授就任。平成28年3月AC教員審査済み。
- ・平成28年4月狩野講師就任辞退に伴い、岡本華枝講師就任。平成27年12月AC教員審査済み。
- ・平成28年3月魚住郁子就任。平成29年4月から専任教員採用予定で公募中。
- ・林和枝専任講師担当科目「基礎セミナーⅠ」「基礎セミナーⅡ」追加。平成28年10月AC教員審査済み。
- ・古澤洋子専任講師担当科目「多職種連携論」追加。平成27年12月AC教員審査済み。
- ・平成28年3月西村淳子助教就任。平成28年10月から専任教員採用予定で公募中。
- ・丹羽都美兼担教授が所属学部の都合で「英語コミュニケーションⅣ」担当を辞退。スリ・ジョン兼担教授に変更。
- ・矢野賀子兼担教授が所属学部の都合で「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」担当を辞退。中島利郎兼担教授と横久保義洋兼担教授に変更。
- ・授業内容の充実を図るため、高村和代兼担教授を「心理学」担当に追加。
- ・高村和代兼担教授、中島利郎兼担教授が所属学部の都合で「ジェンダー論」担当を辞退。河原崎やす子兼担教授に変更。
- ・内藤謙兼任講師が「スポーツⅠ」「スポーツⅡ」担当を辞退。堀内元兼任講師に変更。
- ・ホード・アリア兼任講師が「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」担当を辞退。トド・アリア兼任講師に変更。
- ・本多恭子が兼任講師から兼担教授に変更。
- ・大野智裕兼任講師が「精神看護学援助論Ⅰ」担当を辞退。廣瀬健二兼任講師に変更。
- ・長谷川信が兼任講師から兼担教授に変更。
- ・佐藤純子兼任講師が「医療安全」担当を辞退。田中広司兼任講師に変更。
- ・佐藤道子准教授就任に伴い、兼任講師として「看護学概論」「フィジカルアセスメント」「コミュニケーション論」を担当。
- ・佐藤道子准教授就任に伴い、米倉摩弥兼任講師が「診療援助技術論」「診療援助技術演習」を担当。
- ・佐藤道子准教授就任に伴い、杉浦美佐子兼任講師が「看護過程」を担当。
- ・魚住郁子専任講師に伴い、兼任講師として「看護の対象理解論」「老年看護学実習」を担当。
- ・齊藤正高兼任講師が「中国語コミュニケーションⅠ」「中国語コミュニケーションⅡ」担当を辞退。矢野賀子兼担教授に変更。
- ・宮川啓一兼任講師が「特別活動の指導法」担当を辞退。成田幸夫兼担教授に変更。

【平成29年度】

- ・鷲野嘉映教授担当科目「現代環境科学」「研究の基礎」追加。平成28年10月AC教員審査済み。
- ・平成29年3月片山由美准教授就任。平成28年9月佐藤道子准教授就任。平成29年6月AC教員審査済み。
- ・平成29年4月近藤裕子助教就任。平成28年10月AC教員審査済み。
- ・平成29年8月梶原志保子助教就任。平成29年3月教員審査済み。
- ・平成29年9月佐藤道子准教授就任。平成29年6月教員審査済み。
- ・平成29年9月柴田美意子助教就任。平成29年6月教員審査済み。
- ・上垣涉兼担教授が所属学部の都合で「数学」担当を辞退。鈴木明裕兼担教授に変更。
- ・小林直樹兼担教授が所属学部の都合で「教師論」「生徒指導論」担当を辞退。玉置兼担教授に変更。
- ・佐藤道子兼任講師が「コミュニケーション」担当を辞退。高村和代兼担教授に変更。
- ・吉橋由香兼担教授就任に伴い、土屋マチ兼任講師が「教育相談」を担当。
- ・煙山千尋兼担講師が所属学部の都合で「スポーツⅠ」「スポーツⅡ」担当を辞退。福垣良介兼担教授に変更。
- ・田中幸作兼担講師就任に伴い、土井みどり兼任講師が「フランス語コミュニケーションⅠ」「フランス語コミュニケーションⅡ」、棚橋美知子兼任講師が「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」を担当。
- ・三山緑兼担講師就任に伴い、中島葉子兼任講師が「教育の社会制度論」を担当。
- ・授業内容の充実を図るため、宮野裕兼担教授を「異文化論」担当に追加。
- ・堀内元兼任講師が「スポーツⅠ」「スポーツⅡ」担当を辞退。柿島新太郎兼任講師に変更。
- ・アハハ・アハ兼任講師が「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」担当を辞退。アハ・ハ兼任講師に変更。
- ・資責貴之が兼任講師から兼担教授に変更。
- ・小林建司兼任講師が「病態治療学Ⅳ」担当を辞退。關野孝史兼任講師に変更。
- ・飯田孝兼任講師が「学校保健」担当を辞退。山田小夜子兼任講師に変更。
- ・米倉摩弥兼任講師が「診療援助技術演習」担当を辞退。佐藤道子兼任講師に変更。
- ・米倉摩弥兼任講師が「診療援助技術論」担当を辞退。林由美子兼任講師と野田明敬兼任講師に変更。
- ・片山由美准教授就任に伴い、小松万喜子兼任講師が「看護学概論」を担当。
- ・尾/井美由紀兼任講師が「在宅看護概論」担当を辞退。佐々木裕子兼任講師に変更。
- ・尾/井美由紀兼任講師が「公衆衛生看護学概論」担当を辞退。栗田孝子兼任講師に変更。
- ・尾/井美由紀兼任講師が「公衆衛生看護学活動展開Ⅰ」担当を辞退。後閑容子兼任講師に変更。
- ・授業内容の充実を図るため、望月雄介兼任講師を「中国語コミュニケーションⅠ」担当に追加。
- ・授業内容の充実を図るため、片岡愛兼任講師を「中国語コミュニケーションⅠ」「中国語コミュニケーションⅡ」担当に追加。

【平成30年度】

- ・大見サキエ教授担当科目「看護倫理」追加。平成29年12月AC教員審査済み。
- ・人見教授就任。後任未定であるが、平成30年10月から専任教員採用予定で公募中。また、別で老年領域で平成30年3月講師級でAC申請中。
- ・上田ゆみ子専任講師担当科目「コミュニケーション論」「診療援助技術論」追加。平成29年6月AC教員審査済み。
- ・平成30年4月大久保仁司が准教授に昇格。担当科目「成人看護学援助論Ⅱ」「生涯発達論」「SPP技術指導演習」追加。平成29年12月AC教員審査済み。
- ・賛講師就任。後任未定であるが、平成30年10月から専任教員採用予定で公募中。
- ・平成30年4月古澤洋子が准教授に昇格。平成29年10月AC教員審査済み。
- ・平成30年4月森礼子が講師に昇格。担当科目「公衆衛生看護学概論」「卒業研究」追加。平成29年10月AC教員審査済み。
- ・中川名帆子助教担当科目「卒業研究」追加。平成29年10月AC教員審査済み。
- ・小西真人助教担当科目「卒業研究」追加。平成29年10月AC教員審査済み。
- ・平成30年4月森京子講師就任。平成29年12月AC教員審査済み。
- ・平成30年4月尾間唯未助教就任。平成29年10月AC教員審査済み。
- ・平成30年4月白木京子助教就任。平成29年10月AC教員審査済み。
- ・スリ・ジョン兼担教授が所属学部の都合で「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」担当を辞退。ケルク・マク兼任講師に変更。
- ・小林直樹兼担教授が所属学部の都合で「教育基礎論」担当を辞退。富田福代兼担教授に変更。
- ・玉置兼担教授が所属学部の都合で「教師論」担当を辞退。富田福代兼担教授に変更。
- ・授業内容の充実を図るため、玉置兼担教授を「教育評価」担当に追加。
- ・授業内容の充実を図るため、廣西賢兼担教授を「教育相談の理論と方法」担当に追加。
- ・小栗和雄兼担教授が所属学部の都合で「スポーツⅠ」担当を辞退。福垣良介兼担教授に変更。
- ・高村和代が兼担教授から兼担教授に変更。
- ・安藤史高が兼担教授から兼担教授に変更。
- ・福垣良介兼担教授が所属学部の都合で「スポーツⅡ」担当を辞退。大塚貴史兼担教授、小椋優作兼任講師に変更。
- ・長尾純が兼任専任講師から兼担教授に変更。
- ・中島葉子が兼任専任講師から兼担教授に変更。
- ・三山緑兼担専任講師就任に伴い、成田幸夫兼担教授が「教育行政学」を担当。
- ・上松美由紀兼任講師が「スポーツⅠ」「スポーツⅡ」担当を辞退。林陵平兼任講師に変更。
- ・アハ・ハ兼任講師が「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」担当を辞退。カック・アハ兼任講師に変更。
- ・アハ・ハ兼任講師が「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」担当を辞退。ギョウ・アハ兼任講師に変更。
- ・森田則彦兼担講師が「病態治療学Ⅰ」担当を辞退。上野勝己兼任講師に変更。
- ・高村光幸兼任講師が「東洋医学」担当を辞退。木全かおり兼任講師に変更。
- ・青木康康兼任講師が「特別支援教育・看護合同演習」担当を辞退。河野文光兼担教授に変更。
- ・吉橋由香兼担教授就任に伴い、松本和久兼担教授が「障害児教育学」を担当。

- ・飯田孝兼任講師が「養護概説」「健康相談活動」「養護教諭実習」「養護教諭実習（事前事後）」「教職実践演習（養護教諭）」担当を辞退。伊藤美栄子兼任講師に変更。
- ・菊池真也兼任講師が「道徳教育の指導法」担当を辞退。河合宣昌兼任講師に変更。
- ・登専任講師辞任に伴い、鈴木和代兼任講師が「退院支援論」を担当。
- ・人見教授辞任に伴い、福田峰子兼任講師が「老年看護学概論」「老年看護学援助論Ⅰ」「老年看護学援助論Ⅱ」を担当。
- ・登専任講師辞任に伴い、天野道代兼任講師が「母性看護学援助論Ⅰ」「母性看護学援助論Ⅱ」を担当。
- ・登専任講師辞任に伴い、岡田由香兼任講師が「母性看護学援助論Ⅱ」を担当。
- ・人見教授辞任に伴い、後藤真澄兼任講師が「在宅看護概論」を担当。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
12	6
名	名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
8	4	9	6	27	7	5	6	8	26	7	5	6	8	26
(6)	(3)	(8)	(5)	(22)						[Δ1]	[1]	[Δ3]	[2]	[Δ1]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 - ・ 「**現在（報告書提出時）の完成年度時の計画**」には、「**現在（報告書提出時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
講師以上63歳 助教以下60歳	5	5
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{26}{27} = \boxed{96.29} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{5}{26} = \boxed{19.23} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	講師	狩野雅道	必修	基礎セミナーⅠ	①	自己都合のため就任辞退（27）			
			必修	基礎セミナーⅡ	①				
			必修	基礎看護学実習Ⅱ	①				
			必修	成人看護学援助論Ⅰ	①				
			必修	成人看護学援助論Ⅱ	①				
			必修	成人看護学実習	①				
			必修	卒業研究	①				
			選択	救急看護	①				
			必修	終末期看護実習	①				
			必修	継続看護実習	①				
2	講師	岸 あゆみ	必修	基礎セミナーⅠ	①	一身上の都合のため就任辞退（28）			
			必修	基礎セミナーⅡ	①				
			必修	診療援助技術論	①				
			必修	生活援助技術演習	①				
			必修	診療援助技術演習	①				
			必修	フィジカルアセスメント	①				
			必修	SPP技術演習	①				
			必修	基礎看護学実習Ⅰ	①				
			必修	基礎看護学実習Ⅱ	①				
			必修	卒業研究	①				
3	准教授	尾ノ井 美由紀	必修	基礎セミナーⅠ	①	一身上の都合のため就任辞退（30）			
			必修	基礎セミナーⅡ	①				
			必修	在宅看護概論	②				
			必修	卒業研究	①				
			必修	多職種連携実践演習	①				
			必修	公衆衛生看護学概論	①				
			選択	公衆衛生看護学活動展開Ⅰ	①				
			選択	公衆衛生看護学活動展開Ⅱ	①				
			選択	公衆衛生看護学実習Ⅰ	①				
			選択	公衆衛生看護学実習Ⅱ	①				
選択	公衆衛生看護学実習Ⅲ	①							
合計（D）				後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
3	人	必修	28 科目	必修	27 科目	必修	1 科目	必修	0 科目
		選択	6 科目	選択	6 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	34 科目	計	33 科目	計	1 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	佐藤 道子	必修	基礎セミナーⅠ	①	一身上の都合のため辞任（28）
			必修	基礎セミナーⅡ	①	
			必修	コミュニケーション論	①	
			必修	看護学概論	①	
			必修	診療援助技術論	①	
			必修	生活援助技術演習	①	
			必修	診療援助技術演習	①	
			必修	フィジカルアセスメント	①	
			必修	SPP技術演習	①	
			必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	
			必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
			必修	卒業研究	①	
			選択	看護教育論	①	
			必修	統合看護実習	①	
必修	看護過程	①				

2	講師	魚住 郁子	必修	基礎セミナーⅠ	①	一身上の都合のため辞任 (28)
			必修	基礎セミナーⅡ	①	
			必修	看護の対象理解論	①	
			必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
			必修	老年看護学実習Ⅰ	①	
			必修	老年看護学実習Ⅱ	①	
			必修	卒業研究	①	
			必修	終末期看護実習	①	
			必修	継続看護実習	①	
			必修	統合看護実習	①	
3	助教	西村 淳子	必修	基礎セミナーⅠ	①	一身上の都合のため辞任 (28)
			必修	基礎セミナーⅡ	①	
			必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	
			必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
			必修	成人看護学援助論Ⅰ	①	
			必修	成人看護学援助論Ⅱ	①	
			必修	成人看護学実習	①	
			必修	卒業研究	①	
			必修	終末期看護実習	①	
			必修	継続看護実習	①	
必修	統合看護実習	①				
選択	公衆衛生看護学実習Ⅱ	①				
4	准教授	片山 由美	必修	基礎セミナーⅠ	①	一身上の都合のため辞任 (29)
			必修	基礎セミナーⅡ	①	
			必修	看護学概論	①	
			必修	生活援助技術論	①	
			必修	生活援助技術演習	①	
			必修	診療援助技術演習	①	
			必修	フィジカルアセスメント	①	
			必修	SPP技術演習	①	
			必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	
			必修	基礎看護学実習Ⅱ	①	
			必修	卒業研究	①	
			必修	看護教育論	①	
			必修	統合看護実習	①	
			必修	看護過程	①	
			必修	看護倫理	①	
			5	助教	梶原 志保子	
必修	基礎セミナーⅡ	①				
必修	基礎看護学実習Ⅰ	①				
必修	基礎看護学実習Ⅱ	①				
必修	成人看護学援助論Ⅰ	①				
必修	成人看護学援助論Ⅱ	①				
必修	成人看護学実習	①				
必修	卒業研究	①				
必修	終末期看護実習	①				
必修	継続看護実習	①				
必修	統合看護実習	①				
必修	SPP技術指導演習	①				
必修	老年看護学実習Ⅰ	①				
6	教授	人見 裕江	必修	基礎セミナーⅠ	①	H30.3.31付け一身上の都合のため辞任 (30)
			必修	基礎セミナーⅡ	①	
			必修	生涯発達論	①	
			必修	多職種連携論	①	
			必修	老年看護学概論	②	
			必修	老年看護学援助論Ⅰ	②	
			必修	老年看護学援助論Ⅱ	②	
			必修	老年看護学実習Ⅰ	①	
			必修	老年看護学実習Ⅱ	①	
			必修	在宅看護概論	②	
			必修	卒業研究	①	
			必修	終末期看護実習	①	
			必修	統合看護実習	①	
			選択	ボランティア活動	①	

7	講師	賛 育子	必修	基礎セミナーⅠ	①	H30.3.31付け一身上の都合のため辞任 (30)							
			必修	基礎セミナーⅡ	①								
			必修	退院支援論	②								
			必修	基礎看護学実習Ⅰ	①								
			必修	基礎看護学実習Ⅱ	①								
			必修	母性看護学援助論Ⅰ	②								
			必修	母性看護学援助論Ⅱ	②								
			必修	母性看護学実習	①								
			必修	卒業研究	①								
			必修	SPP技術指導演習	①								
			必修	多職種連携実践演習	①								
			必修	継続看護実習	①								
必修	統合看護実習	①											
合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)										
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
7	人	必修	88	科目	必修	81	科目	必修	7	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	92	科目	計	85	科目	計	7	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)										
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
10	人	必修	116	科目	必修	108	科目	必修	8	科目	必修	0	科目
		選択	10	科目	選択	10	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	126	科目	計	118	科目	計	8	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{10}{27} = \boxed{37.03} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>専任教員交代に係る対応について、平成30年度に開講する授業科目については専任教員あるいは兼任教員の後任補充を行うため問題ない。また、専任教員交代に係る学生への周知については、オリエンテーションを通して周知を図っているため問題ない。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>設 置 時</p> <p>(26年10月)</p>	<p>1. 看護過程の展開に関する教育について、「看護学概論」においてヘンダーソンの理論を用いて事例を通して看護過程の展開の基礎知識を学習する計画となっているが、同理論を理解するためには看護学に関する一定の知識が必要であることから、看護学について学び始めたばかりの1年前期に履修する同科目における学習内容としては適切でないと思われる。そのため、看護過程に関する教育については、一つの科目のみによるものではなく、特に臨地実習前の2年前期までを中心とした4年間にわたって段階的に学習が行えるようカリキュラムの内容を検討し、適切に修正すること。</p> <p>2. 教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開講時までに確実に専任教員を配置して教員を充足すること。</p> <p>3. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。</p>	<p>ご指摘に従って、基礎看護学領域の科目構成に「看護過程」を設定し、合計単位数の変動がないように、「生活援助技術論」2単位を1単位の減らし、「看護過程」を1単位20時間演習科目（必修）として2年次後期に設定した。1年次で「生活援助技術論」と「生活援助技術演習」「フィジカルアセスメント」を学習した後、2年次前期で「診療援助技術論」「診療援助技術演習」を学習する。これら学習した内容を踏まえ、2年次後期で「看護過程」が学習できるように配置した。同時に「SPP技術演習」1単位30時間では、看護技術について看護過程の要素を取り入れ、技術演習を行うため、看護過程の学習の強化ができる。これらの学習はその後の各専門領域の看護過程の学習でさらに学習を深めることができ、最終的には統合実習で総括できると考えている。</p> <p>教員の補充が必要とされた「老年看護学実習Ⅰ」については、平成27年2月に小河育恵（教授）が教員審査において判定可となり、科目開講時までに専任教員を配置することが可能となった。</p>	<p>履行済</p> <p>完成年度における定年規程に定める退職年齢を迎える専任教員数が6名いることについては、定年規程に基づき適切に運用を行うとともに、退職人事が発生した場合の採用では、応募のあった人材のうち極力年齢の若い人材の採用に心掛ける。</p>
<p>設置計画履行状況 調 査 時</p> <p>(28年2月)</p>	<p>該当なし</p>		
<p>設置計画履行状況 調 査 時</p> <p>(29年2月)</p>	<p>該当なし</p>		

設置計画履行状況 調査時 (30年2月)	該当なし			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>①養成する人材像及び学生に習得させる能力</p> <p>(1) 養成する人材像 本学は建学の精神の仏教精神を基調とした「以和為貴」に則って、「平等」、「寛容」、「利他」の“こころ”の教育を基盤として以下の5つの観点を含む深い人間理解と高い倫理観を備えた看護専門職として社会に貢献できる人材の養成を目的とする。</p> <p>1) 豊かな人間性に加え、生命の尊重と高い倫理観を備えている</p> <p>2) 自己理解を土台にした他者理解と高いコミュニケーション能力を持つ</p> <p>3) 論理的で粘り強く思考し、対象に応じて創造的に看護を実践できる</p> <p>4) 保健・医療・福祉等の専門の多職種と連携し、社会に貢献できる</p> <p>5) 国際感覚があり、広い視野で生涯学び続け、看護を革新・発展させていくことができる</p> <p>(2) 学生に習得させる能力</p> <p>1) 豊かな人間性をもち、生命の尊重と高い倫理観をもって誠心誠意他者に関わることができる能力</p> <p>2) 自分と他者に対して素直に向き合い、寛容の心をもって相互関係を築くことができる高いコミュニケーション能力</p> <p>3) 専門的知識・技術を統合・汎用し、科学的根拠に基づいて多様な人々に対して柔軟かつ創造的に看護を実践することができる能力</p> <p>4) 対象の最善の利益を追求する同一目的集団であることを常に認識し、保健・医療・福祉・教育・行政等の多職種と連携・協働し、地域社会に貢献できる能力</p> <p>5) 看護に対する情熱や使命感と国際的視野をもち、自立した看護専門職として継続的に自己研鑽できる能力</p> <p>②入試選抜方法と募集定員 看護学部での入学者選抜方法は、アドミッションポリシーに基づいて、指定校制推薦入試、公募制推薦入試、一般入試（A日程）、一般入試（B日程）、一般入試（C日程）、大学入試センター試験利用入試（前期日程）（後期日程）で実施する。なお、募集定員については次のとおりとする。</p> <p>指定校制推薦入試10名 公募制推薦入試 14名（社会人入試2名含む） 一般入試（A日程）16名 一般入試（B日程）22名 一般入試（C日程）10名 大学入試センター試験利用入試（前期日程）5名 大学入試センター試験利用入試（後期日程）3名</p>	<p>①養成する人材像及び学生に習得させる能力 養成する人材像及び学生に習得させる能力について、各科目との整合性を確認するとともに各科目での習得させる能力について確認・調整を行う。</p> <p>②入試選抜方法と募集定員 平成27年度入試は設置時の計画とおりに実施した。平成28年度入試は、前年度の結果を考慮して一般入試（A日程）を除いて以下のとおり予定している。 なお、一般入試（B日程）及び大学入試センター試験利用入試に募集人員を割り振ることにより幅広い地域からの出願が見込まれる。</p> <p>指定校制推薦入試10名 公募制推薦入試 14名（社会人入試2名含む） 一般入試（B日程）32名 一般入試（C日程）9名 大学入試センター試験利用入試（前期日程）10名 大学入試センター試験利用入試（後期日程）5名</p> <p>②入試選抜方法と募集定員 平成28年度入試は上記のとおり実施した。平成29年度入試は、前年度の結果を考慮して一般入試（A日程）を追加して以下のとおり予定している。 また、一般入試及び大学入試センター試験利用入試の募集人員についても改めた。</p> <p>指定校制推薦入試10名 公募制推薦入試 14名（社会人入試2名含む） 一般入試（A日程）22名 一般入試（B日程）20名 一般入試（C日程）6名 大学入試センター試験利用入試（前期日程）5名 大学入試センター試験利用入試（後期日程）3名</p>

<p>③社会的・職業的自立に関する指導等及び体制 教育課程以外の取組</p> <p>(1) 就職講座</p> <p>1) 一般常識・基礎学力テスト「START (スタート)」を実施(1～3年次)</p> <p>就職試験問題として出題される一般常識や能力・性格の適性検査問題などに本番と同様の形式で取り組む。年度初めに1～3年生を対象に実施し、結果報告書によって苦手分野を知り、補強することを目的とする。</p>	<p>③社会的・職業的自立に関する指導等及び体制 教育課程以外の取組</p> <p>一般常識・基礎学力テスト「START (スタート)」に替わり、看護医療模試(基礎学力判定模試)を実施。これまでの英数国の試験内容に新たに「生物・化学」を追加した。5科目での学力判定を行うことで内容の充実を図った(1～3年次)。</p>
---	---

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p style="text-align: center;">ファカルティ・ディベロップメント委員会規程</p> <p>(目的)</p> <p>第1条 岐阜聖徳学園大学(短期大学部を含む。以下「本学」という。)は、本学及び本学の教育職員が教育の質的向上を図るために組織的に取り組む活動(以下「FD」という。)を推進することを目的として、本学にファカルティ・ディベロップメント委員会(以下「委員会」という。)を置く。</p> <p>(任務)</p> <p>第2条 委員会は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事項を審議し、FDを推進するための活動を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) FD推進のための企画及び実施に関すること (2) FDに関する報告書等の作成に関すること (3) FDに関する調査・研究に関すること (4) 教育内容及び教育環境の改善に関すること (5) 教育技法の改善・向上のための具体的活動に関すること (6) 学生による授業評価の実施・結果公表と授業改善に関すること (7) 教育職員の資質開発を計るための組織的な研修に関すること (8) その他FDの推進及び委員会に関すること <p>(構成)</p> <p>第3条 委員会は、次の委員をもって構成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 学長 (2) 各研究科長及び各学部長 (3) 教務部長 (4) 自己点検・評価委員会委員長 (5) 学長が指名した若干名 <p>(任期)</p> <p>第4条 前条第5号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合は、前任者の残任期間とする。</p> <p>(運営)</p> <p>第5条 委員長は学長とし、副委員長は委員の互選とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 委員長は、委員会を招集し議長となる。 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。 4 委員会定数は、構成員の2分の1とする。 5 委員会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求め、その意見を聞くことができる。 6 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。 <p>(部会)</p> <p>第6条 大学院及び各学部にてFD推進部会を設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 部会長は各研究科長及び各学部長とし、構成員については部会長が指名する。 3 部会は、第2条の各号について実施する。 <p>(その他)</p> <p>第7条 その他の必要事項については、委員会において定める。</p> <p>(幹事)</p> <p>第8条 委員会の記録その他の事務は、総合企画課が担当する。又各部会の事務は、羽島教務課・岐阜教務課が担当する。</p> <p style="padding-left: 2em;">附 則 この規程は、平成17年4月1日から施行する。</p> <p style="padding-left: 2em;">附 則 この規程は、平成19年4月1日から施行する。</p> <p style="padding-left: 2em;">附 則 この規程は、平成23年4月1日から施行する。</p>
--

看護学部には学部のFD推進を目的としてファカルティ・ディベロップメント推進部会を置いている。

(設置)

第1条 ファカルティ・ディベロップメント委員会規程第6条に基づき、ファカルティ・ディベロップメント推進部会（以下「部会」という。）を置く。

(目的)

第2条 部会は、教育職員が教育の質的向上を図るために組織的に取り組む活動（以下「FD」という。）を推進することを目的とする。

- (1) FD推進のための企画及び実施に関すること
- (2) FDに関する報告書等の作成に関すること
- (3) FDに関する調査・研究に関すること
- (4) 教育内容及び教育環境の改善に関すること
- (5) 教育技法の改善・向上のための具体的活動に関すること
- (6) 学生による授業評価の実施・結果公表と授業改善に関すること
- (7) 教育職員の資質開発を図るための組織的な研修に関すること
- (8) その他FDの推進及び委員会に関すること

(任務)

第3条 部会は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事項を審議し、FDを推進するための活動を行う。

(構成)

第4条 部会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 学部長
- (2) 教授会において選出された8名の教育職員

(運営)

第5条 学部長は部会の部会長となり、副部会長は委員の互選により選出する。

2 部会長は、部会を招集し、その議長となる。

3 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるときは、その職務を代理する。

4 部会の定足数は、構成員の3分の2とする。

5 部会は、必要に応じて委員以外の教育職員の出席を求めることができる。

(任期)

第6条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

(報告等)

第7条 部会長は、部会の審議結果について学部教授会に報告しなければならない。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

(大学全体)

ファカルティ・ディベロップメント委員会規程第3条において、構成員を(1)学長、(2)各研究科長及び各学部長、(3)教務部長、(4)自己点検評価委員会委員長、(5)学長が指名した若干名、と定めている。平成27年度ファカルティ・ディベロップメント委員会は、学長、経済情報研究科長、国際文化研究科長、教育学部長、外国語学部長、経済情報学部長、看護学部長、短期大学部長、教務部長、事務局長、羽島事務部長、岐阜事務部長、羽島教務課長、岐阜教務課長で構成。事務局を総合企画課としている。

平成27年度

平成27年度第1回FD委員会（平成27年5月20日開催）14名出席。

平成27年度第2回FD委員会（平成27年10月28日開催）11名出席。

平成27年度第3回FD委員会（平成28年2月24日開催）14名出席。

平成28年度

平成28年度第1回FD委員会（平成28年5月18日開催）15名出席。

平成28年度第2回FD委員会（平成28年10月27日開催）11名出席。

平成28年度第3回FD委員会（平成29年2月22日開催）14名出席。

平成29年度

平成29年度第1回FD委員会（平成29年4月12日開催）14名出席。

平成29年度第2回FD委員会（平成29年5月10日開催）15名出席。

平成29年度第3回FD委員会（平成29年10月25日開催）14名出席。

(看護学部)

ファカルティ・ディベロップメント推進部会規程第4条において、構成員を(1)学部長、(2)教授会において選出された8名の教育職員で構成。

平成27年度

第1回：平成27年4月14日 9名

第2回：平成27年5月19日 9名

第3回：平成27年6月10日 9名

第4回：平成27年7月14日 9名

第5回：平成27年9月7日 8名

第6回：平成27年10月13日 9名

第7回：平成27年11月10日 9名

第8回：平成28年12月18日 9名

第9回：平成28年1月12日 9名

第10回：平成28年2月16日 9名

第11回：平成28年3月10日 9名

平成28年度

- 第1回：平成28年 4月12日 9名
- 第2回：平成28年 5月15日 9名
- 第3回：平成28年 6月14日 9名
- 第4回：平成28年 7月11日 8名
- 第5回：平成28年 9月12日 7名
- 第6回：平成28年11月 7日 8名
- 第7回：平成28年12月18日 8名
- 第8回：平成29年 1月16日 7名
- 第9回：平成29年 3月14日 8名

平成29年度

ファカルティ・ディベロップメント推進部会規程第4条2号を変更し、構成員5名の教育職員で構成。

- 第1回：平成29年4月11日 5名
- 第2回：平成29年5月9日 4名
- 第3回：平成29年6月13日 5名
- 第4回：平成29年7月11日 5名
- 第5回：平成29年9月12日 4名
- 第6回：平成29年12月6日 3名
- 第7回：平成30年2月6日 4名
- 第8回：平成30年3月6日 4名

c 委員会の審議事項等

平成27年度第1回FD委員会（平成27年5月20開催）議題

- 1. 副委員長の選出について
- 2. FDサロンの実施について
- 3. 平成27年度授業評価アンケートの実施について
- 4. 公開授業について
- 5. その他

平成27年度第2回FD委員会（平成27年10月28日開催）議題

- 1. FDサロン アンケート結果について
- 2. 平成27年度教員評価について
- 3. FD研修会について
- 4. 授業改善報告会について
- 5. その他

平成27年度第3回FD委員会（平成28年2月24日開催）議題

- 1. 第9回FD研修会アンケート結果について
- 2. 平成28年度教員評価について
- 3. 公開授業アンケートについて
- 4. 授業評価アンケートについて
- 5. FD目標について
- 6. その他

平成28年度第1回FD委員会（平成28年5月18日開催）議題

- 1. 副委員長の選出について
- 2. FD活動の年間計画について
- 3. 平成28年度授業評価アンケートの実施について
- 4. その他

平成28年度第2回FD委員会（平成28年10月27日開催）議題

- 1. 教育職員評価結果について
- 2. 岐阜聖徳学園大学（短期大学部を含む）の教育職員評価の実施に関する基本方針について
- 3. 岐阜聖徳学園大学（短期大学部を含む）の教育職員評価の実施に関する基本方針の取り扱いに係る申し合わせ事項について
- 4. 大学全体のFD方針、FD目標及び評価指標について
- 5. 平成28年度FD活動について
- 6. 中堅職員研修について
- 7. その他

平成28年度第3回FD委員会（平成29年2月22日開催）議題

- 1. ファカルティ・ディベロップメント委員会規程の改正について
- 2. 各研究科・各学部におけるFD活動の目標及び評価指標について
- 3. 教育職員一覧について
- 4. その他

平成29年度第1回FD委員会（平成29年4月12日開催）議題

1. FD活動年間計画について
2. 平成29年度授業評価アンケートの実施について
3. その他

平成29年度第2回FD委員会（平成29年5月10日開催）議題

1. 教育職員評価について

平成29年度第3回FD委員会（平成29年10月25日開催）議題

1. 教育職員評価結果について
2. 第11回FD研修会の開催について
3. 研究業績プロ導入に伴うresearchmapとの連携について
4. 授業評価アンケート結果（自由記述欄）から見えてくる10のポイントについて
5. 第16回FDサロンアンケートについて
6. その他

平成27年度看護学部FD推進部会議題

第1回看護学部FD推進部会

1. 会議日程と役割分担
2. 研修会企画案について

第2回看護学部FD推進部会

1. 平成27年教育改革事業助成金応募とFD活動年間計画との関連
2. 計画案の検討
3. 研修会役割検討

第3回看護学部FD推進部会

1. 平成27年教育改革事業助成金応募と役割検討
2. 第1回・第2回研修会企画検討

第4回看護学部FD推進部会

1. 第1回研修会アンケート結果
2. 公開授業アンケート案の検討
3. 第2回研修会振り返り
4. 第3回研修会企画検討
5. 第5回・第8回の研修会講師及び研修会内容検討

第5回看護学部FD推進部会

1. 第3回研修会アンケート結果まとめ・振り返り
2. 公開授業アンケート案の検討（看護学部独自の授業聴講用）
3. 第4回・第5回研修会検討

第6回看護学部FD推進部会

1. 第4回研修会アンケートまとめ・振り返り
2. 第6回・7回の研修会検討

第7回看護学部FD推進部会

1. 第7回FD研修会「臨床指導者研修会」計画
2. 平成28年度FD研修会および経費計画
3. 第6回研修会検討

第8回看護学部FD推進部会

1. 第6回FD研修会検討
2. 平成28年度FD研修会企画検討（予算請求等）

第9回看護学部FD推進部会

1. 教育改革事業助成に関する報告書作成について
2. 第7回FD研修会検討、授業聴講評価アンケート回収について

第10回看護学部FD推進部会

1. 第7回FD研修会検討（運営等）
2. 第8回FD研修会詳細打ち合わせ
3. 授業聴講アンケート結果報告

第11回看護学部FD推進部会

1. 第8回研修会企画運営確認
2. 平成27年度FD活動総括
3. 教育改革事業報告書と収支報告書の確認

平成28年度看護学部FD推進部会議題

第1回看護学部FD推進部会

1. 会議日程と役割分担
2. 研修会企画の検討

第2回看護学部FD推進部会

1. FD研修会計画検討
2. 次年度科研費獲得に向けた取り組み

第3回看護学部FD推進部会

1. 平成27年度看護学部研究成果報告会の企画検討
2. FD推進部会細則見直し
3. FDサロンの企画検討

第4回看護学部FD推進部会

1. 第1回第2回研修会企画検討
2. FD推進部会細則見直し

第5回看護学部FD推進部会

1. FDサロンの企画検討
2. 多職種連携の講演の検討

第6回看護学部FD推進部会

1. 平成28年度臨地実習指導者研修会について企画検討
2. 授業案アンケート実施に関する検討
3. 第1回研修会の検討

第7回看護学部FD推進部会

1. 各学部におけるFD活動の目標の検討

第8回看護学部FD推進部会

1. 看護学部細則の検討
2. 第2回研修会（第28年度臨地実習指導者研修会）の企画検討

第9回看護学部FD推進部会

1. 平成28年度看護学部FD推進部会総括

平成29年度 研修会実施状況（①開催日時、②対象者、③開催目的、④研修形式）

第1回：①平成29年7月26日（水）9:00～10:30

- ②全教員
- ③研究における資質・能力の向上を図る。
- ④講義・グループワーク

第2回：①平成29年9月28日（木）14:00～16:00

- ②全教員 学部外教員
- ③よりよい授業設計をめざし、教育の質を保證する教授法を学ぶ。
- ④講義

第3回：①平成29年12月25日（月）14:00～16:00

- ②看護系教員 臨地実習指導者
- ③本学部の教育方針を理解するとともに、よりよい実習指導への示唆を得る。
- ④講義・ディスカッション

② 実施状況

a 実施内容

（大学全体）

- ・ 学内講師によるFDサロン
- ・ 学外講師によるFD研修会
- ・ 学内講師による授業改善報告会（平成29年度から教育改革事業助成報告会）
- ・ 非常勤講師との懇談会、新任教員のためのオリエンテーション

（看護学部）

- ・ 専任教員オリエンテーション及びFD
- ・ 公開授業

研修会実施状況（①開催日時、②対象者、③開催目的、④研修形式）

平成27年度

第1回：①平成27年6月29日（月）15:00～16:30

- ②全教員
- ③教員の研究倫理に関する倫理的感受性の向上を図る
- ④講演

第2回：①平成27年7月13日（月）15:00～16:30

- ②全教員
- ③教員各自が役割と責務を自覚し、相互に協力し合って教育活動できる力の向上を図る
- ④講義・グループワーク

第3回：①平成27年8月5日（水）13:30～17:00

- ②看護系教員
- ③基礎看護学実習Ⅰに向けて、実習指導を円滑に行うために、実習指導における教員の基本姿勢と役割を学ぶ
- ④講義・グループワーク

第4回：①平成27年9月25日（金）15:00～16:40

- ②全教員
- ③科研費申請のポイントや査読ポイントについて学び、科研費獲得や論文投稿を目指す
- ④講義

- 第5回：①平成27年10月10日（土）13：00～17：00
 ②全教員
 ③質的研究手法のひとつであるM-GTAを学び、教員の研究実践能力の向上を図る
 ④講義・演習
- 第6回：①平成27年12月14日（月）15：00～16：30
 ②全教員
 ③多職種連携に関する基本的考え方を共通認識し、本学部カリキュラムの柱の一つである多職種連携論の教育の円滑化を図る
 ④講義・グループワーク
- 第7回：①平成28年2月19日（金）13：00～16：30
 ②看護系教員および臨地実習関連施設実習指導者
 ③臨地実習に対する共通理解を図り、教員と実習指導者との連携のもとに、学生の学びを支援し促進するための実習指導のあり方を考える
 ④講演・グループワーク
- 第8回：①平成28年3月16日（水）10：00～15：30
 ②全教員
 ③行動分析学の講義と演習を通して学生の行動変容を促すための教育・指導方法および評価方法を学び、教員の教育力向上を目指す
 ④講義・グループワーク・演習

平成28年度 研修会実施状況（①開催日時、②対象者、③開催目的、④研修形式）

- 第1回：①平成28年11月30日（水）13：00～15：00
 ②全教員
 ③各職位間で教育観など話し合うことで、役割と責務を振り返る機会とし、資質向上を目的とする
 ④講義・グループワーク
- 第2回：①平成29年2月23日（木）13：30～16：00
 ②看護系教員・臨地実習指導者
 ③本学部における教育方針と現代学生の理解を深める
 ④講義

平成28年度 FDサロン実施状況（①開催日時、②対象者、③開催目的、④研修形式）

- 第1回：①平成28年10月19日（水）15：30～17：00
 ②看護系教員
 ③教員の量的研究能力の向上を図る
 ④講義・ディスカッション
- 第2回：①平成28年12月24日（金）12：30～14：00
 ②全教員
 ③教員の量的研究能力の向上を図る
 ④講義・ディスカッション

平成29年度

- 第1回看護学部FD推進部会
 1. 平成29年度FD研修会計画
 2. 役割分担
- 第2回看護学部FD推進部会
 1. 平成29年度FD研修会テーマについて
 2. 平成28年度看護学部研究助成 研究成果報告会について
 3. FD研修会アンケート内容の検討
- 第3回看護学部FD推進部会
 1. 平成28年度看護学部研究助成 研究成果報告会準備状況
 2. 平成29年度FD研修会準備状況
- 第4回看護学部FD推進部会
 1. 平成28年度看護学部研究助成 研究成果報告会準備状況
- 第5回看護学部FD推進部会
 1. 平成28年度看護学部研究助成 研究成果報告会アンケート結果
 2. 平成29年度看護学部FD研修会準備状況
- 第6回看護学部FD推進部会
 1. 平成29年度臨地実習指導者研修会について
- 第7回看護学部FD推進部会
 1. 平成29年度臨地実習指導者研修会 アンケート結果
- 第8回看護学部FD推進部会
 1. 平成29年度看護学部FD推進部会総括

b 実施方法

（大学全体）

- ・学内講師によるFDサロン
 本学の教員に講師を依頼し、自身の授業観、学生による授業評価アンケートの結果などを踏まえて講演、参加者（教職員）も含めたサロンを開催している。
- ・学外講師によるFD研修会
 学外から講師を依頼し、教員の資質向上を目的とした研修会を実施している。
- ・学内講師による授業改善報告会（平成29年度から教育改革事業助成報告会）
 毎年、設定した授業改善に関するテーマに基づき、各学部の代表教員が授業評価アンケート結果を踏まえた授業改善方法の報告会を開催している。平成29年度からは教育改革事業助成報告会として、前年度に学長裁量経費で助成を受けた教員が事業内容の報告を行っている。
- ・非常勤講師との懇談会、新任教員のためのオリエンテーション
 大学及び学部の人材育成の理念や主な学部教育体制、研究室・教室の使用方法及び事務手続きの概要についての説明を行った。

(看護学部)

・専任教員オリエンテーション及びFD

大学の教育理念、教育方針、諸規定の周知、大学の組織、委員会等の周知、看護学部の教育方針（設置趣旨を再度確認）、学部の特色とカリキュラム（CP、DP）の説明、教養教育を重視していること、科目間の関連を意識した講義について、臨地実習における教員の役割と臨床との連携の重要性、カンファレンスの重要性、履修登録についての学生支援等について説明を行った。また、教員の役割と責務についての申し合わせ事項の徹底周知、研究倫理について簡単なレクチャー、教育方針を理解して、効果的な教育ができるように非常勤講師対応のマニュアル作成とその周知、全学で作成した個人情報保護に関するガイドブックに沿って理解を深めるためのプレゼンを行った。

・公開授業

看護学部専任教員の教育内容及び教育方法の改善することを目的とした公開授業を実施している。

平成27年度

第1回：講演形式（一部演習を含む）

テーマ：「看護研究における倫理について」

講師：服鳥景子准教授

第2回：演習形式

テーマ：「各職位の役割と責務」

講師：大見サキエ教授

第3回：講義形式（一部演習を含む）

テーマ：「実習指導における教員の役割（ベーシック）」

講師：大見サキエ教授・小河育恵教授

第4回：講演形式

テーマ：「①科研費獲得について」

「②査読のポイントと査読にあたり配慮すべきこと」

講師：大見サキエ教授・西村淳子助教

小林純子教授

第5回：講演形式（一部演習を含む）

テーマ：「質的研究法としてのゲランデット・セオリー・アプローチ-M-GTAの分析方法-」

講師：立教大学社会学部

木下康仁教授

第6回：講演形式（一部演習を含む）

テーマ：「多職種連携に関する基本的考え方」

講師：小林純子教授・古澤洋子専任講師

第7回：講演形式（一部演習を含む）

テーマ：「平成27年度臨地実習指導者研修会：学生への理解を深める～現代の学生の気質～」

講師：岐阜聖徳学園大学 教育学部 学校教育課程 学校心理専修

高村和代准教授

第8回：講演形式（一部演習を含む）

テーマ：「授業デザイン・授業評価法」

講師：大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部門

佐藤浩章准教授

平成28年度 FD研修会

第1回：講義・グループワーク

テーマ：「各職位の役割と責務（2） 教育・研究に関わる教員の組織的な連携体制について」

講師：大見サキエ 学部長

第2回：講義形式

テーマ：「現代の学生とのかかわり方のヒント・配慮」

講師：教育学部 学校教育課程 特別支援教育専修 安田和夫教授

平成28年度 FDサロン

第1回：講義・ディスカッション

テーマ：「社会的ネットワークの計量分析」

講師：前田尚子 教授

第2回：講義・ディスカッション

テーマ：「家族介護者の介護に対する肯定感・否定感に関連する要因

—認知症高齢者を介護する家族の家族機能に焦点を当てて—」

講師：前田尚子 教授・近藤裕子 助手

平成29年度 FD研修会

第1回：研究報告

テーマ：「平成28年度看護学部研究助成 成果報告会」

発表者：岡本華枝講師 古田千恵助教 森 礼子助教 近藤裕子助教 小西真人助教 尾関唯未助手

谷脇歩実助手

第2回：講義形式

テーマ：「教育の質を保証する教授法 - よりよい授業設計のために - 」

講師：熊本大学大学院 教授システム学専攻長 鈴木克明教授

第3回：講義・ディスカッション

テーマ：「臨地実習指導の基本的考え方」

講師：大見サキエ学部長

c 開催状況（教員の参加状況含む）

（大学全体）

・学内講師によるFDサロンについて

平成26年7月16日、外国語学部長尾純専任講師による講演「授業に役立つ10の小技」羽島キャンパス7号館2F7207教室にてFDサロンを実施した。
教育職員72名参加。

・学外講師によるFD研修会

平成26年6月3日、村上隆中京大学現代社会学部教授による講演「アドミッションポリシーに基づいた人材育成について―入試との関わりから―」羽島キャンパス7号館1F7106教室にてFD研修会を実施した。
教育職員55名参加。

・学内講師による授業改善報告会

平成27年1月28日、教育学部芳賀高洋准教授、外国語学部アラン・トンプソン准教授、経済情報学部二本杉剛准教授、短期大学部長野郁也准教授による報告会「学生による授業評価アンケート結果を踏まえた授業改善について―授業方法（アクティブラーニング）の改善にむけて―」羽島キャンパス7号館1F7108教室にて授業改善報告会を実施した。
教育職員66名参加。

・非常勤講師との懇談会、新任教員のためのオリエンテーション

平成27年3月24日に非常勤講師との懇談会を実施した。4月2・7日には、新任教員のためのオリエンテーションを実施した。
非常勤講師懇談会（教育学部・外国語学部・看護学部89名（内非常勤52名）、経済情報学部・短期大学部38名（内非常勤18名）参加）
新任教員オリエンテーション（教育学部4名 外国語学部1名 看護学部21名 参加 ※経済情報学部・短大学部については該当なし）

（看護学部）

平成27年度

・専任教員オリエンテーション及びFD

平成27年4月2・6・13・27日の4日間で専任教員へのオリエンテーション及びFDを実施した。（21名参加）

・公開授業

次の3科目について公開授業を実施した。

「看護学概論」（12名参加）、「コミュニケーション論」（13名参加）、「健康科学」（12名参加）

開催状況（①教員の参加人数②アンケート回収数結果③アンケート結果概要）

第1回：①25名

②23名

③倫理申請の時期と重なり、関心は高く高評価であった。日程や運営についてもおおむね良い評価であった。

第2回：①25名

②23名

③時期的にもう少し早く行いたかったという意見があったが、今後につながる内容であり、関心は高かった。

第3回：①23名

②22名

③関心は高く、今後につながる内容であったとの評価であったが、講義時間がやや長かったとの意見もあった。

第4回：①29名

②27名

③科研費申請の時期と重なり、関心は高かった。また、内容も具体的で各自の理解が深まったという意見が多かった。

第5回：①26名

②22名

③関心は高く、各教員の取り組みも積極的であった。

第6回：①25名

②23名

③多職種連携に関する関心は高く、IPE・IPWの理解が深まり、グループディスカッションにより活発に意見交換が出来たとの意見が多かった。

第7回：（教員）

①25名

②22名

③学生の特徴を理解し、指導の対応参考になる内容であったとの意見が多く、関心は高かった。また、病院施設の指導者とのグループワークが有意義であったとの意見が多かった。

（学外参加者）

①78名

②75名

③関心は高く、今後の実習指導に役立つ内容であったとの意見が多かった。タイムスケジュールに余裕がなかったとの意見があった。

第8回：①29名

②25名

③授業デザインでは、身近な問題を取り上げられており、興味をもって聞くことができたとの意見が多かった。また、授業評価については今後ルーブリック評価を取り入れたいという意見が多く、今後につながる内容の研修となった。

平成28年度 FD研修会 開催状況 (①教員の参加人数②アンケート回収数結果③アンケート結果概要)

第1回：①27名

②23名

③率直な意見交換ができたことは良いとの記載が多かったが、「大変有意義・やや有意義」は39.1%にとどまった

第2回：①22名 (臨地実習指導者74名)

②11名 (臨地実習指導者72名)

③研修内容とそれを踏まえての今後の活用性についておおむね良好の感想であり、今後も研修会の開催を期待しているという意見であった。しかし、教育学部の学生に関する内容が多かったため、看護に特化した内容を希望している人も若干見受けられた。

また、岐阜聖徳学園大学の看護学部の方針だけでなく、日本全体の動向などを含めて聞きたいという意見もあった。

平成28年度 FDサロン 開催状況 (教員の参加人数)

第1回：10名

第2回：7名

平成29年度 FD研修会 開催状況 (①教員の参加人数②アンケート回収数結果③アンケート結果概要)

第1回：①28名

②27名

③「大変有意義・やや有意義」の回答は96.3%であり、他の看護学領域の研究内容や方法を知る機会となったという記載が多かった。

第2回：①看護学部25名 学部外8名

②看護学部23名 学部外8名

③「大変有意義・やや有意義」の回答は、看護学部91.3% 学部外100%であった。

テーマについての興味・関心も高く、授業改善に活かそうであると回答していた。

第3回：①看護学教員24名 臨地実習指導者47名

②看護学教員12名 臨地実習指導者43名

③臨地実習指導者の95%以上が、指導に役立つ内容であったと回答され、今後も継続して開催を求める意見が多くあった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

さまざまな取組を通して、授業改善に向けた問題意識の共有を図っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

年1回、授業時間内において実施している。対象となる授業は、履修登録生が10人以上で、卒業研究(専門ゼミ・専門演習)を除く全ての授業である。アンケート実施期間を設けて期間内に実施、教務課にて回収する。

平成26年度は後期に実施した。アンケート実施期間は平成26年12月15日から平成27年1月9日までと設定、期間内にアンケートを実施している。実施後は教務課が回収し、専門業者による集計が行われる。

平成27年度は前期に実施した。アンケート実施期間は平成27年7月13日から平成27年7月24日までと設定、期間内にアンケートを実施している。実施後は教務課が回収し、専門業者による集計が行われる。

平成28年度は後期に実施した。アンケート実施期間は平成29年1月10日から平成29年1月23日までと設定、期間内にアンケートを実施している。実施後は教務課が回収し、専門業者による集計が行われる。

平成29年度は前期に実施した。アンケート実施期間は平成29年7月17日から平成29年7月28日(看護学部の一部の授業は平成29年7月4日から)までと設定、期間内にアンケートを実施している。実施後は教務課が回収し、専門業者による集計が行われる。

b 教員や学生への公開状況、方法等

学生による授業評価アンケートを実施し、集計結果を各教員に返却している。専任教員においては、集計結果を踏まえ、任意の科目について「学生による授業評価アンケート 自己点検・評価報告書(1科目検証)」を作成している。1科目検証は学内Webページに公表されると同時に、「授業評価アンケート集計結果」とともに羽島・岐阜両キャンパスの図書館で公開されている。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

看護学部では、建学の精神にのっとり、社会の要請に応じて、心の教育を基盤とした、深い人間理解と高い倫理観を備えた看護専門職として社会に貢献できる人材を養成することを目的としている。今年度は5月1日現在の諸データに基づいて自己点検評価を実施する予定となっており、早速、4月15日に平成27年度第1回目の自己点検評価委員会を開催し、自己点検評価を行う方向で検討した。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成21年度版自己点検評価報告書 平成22年7月公表
- ・平成21年度版自己点検評価報告書（改善報告書） 平成25年4月公表
- ・平成27年度版自己点検評価報告書 平成29年4月公表

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開している。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成21年度の大学評価（認証評価）について、大学基準協会に申請。
- ・平成22年3月 評価結果 大学基準に適合していると認定。 認定期間 平成29年3月31日まで。
- ・平成24年7月 大学基準協会へ改善報告書を提出。
- ・平成27年度に評価報告書（申請用）を作成し、平成28年3月に大学評価申請。
- ・平成29年3月 評価結果 大学基準に適合していると認定。 認定期間 平成36年3月31日まで。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成30年5月31日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。